

令和3年度予算の確保に向けた
国への要望
(国土交通省関係分)



三重とこわか国体

第76回国民体育大会

2021年 9月25日(土)~10月5日(火)

三重とこわか大会

第21回全国障害者スポーツ大会

2021年 10月23日(土)~10月25日(月)



令和2年11月 三重県

目 次

【要望項目】

9	防災・減災、国土強靭化のさらなる強力な推進 (1)大都市部への過度な一極集中を是正し、地方創生を実現するための 地方における安全・安心の確保(内閣官房、総務省、財務省、国土交通省)	1
17	「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「豊かで暮らしやすい 地域の形成と多核連携型の国づくり」に資する社会資本整備の推進(財務省、国土交通省)	2
18	社会資本整備に係る地方財政への支援・充実(内閣官房、総務省、財務省、国土交通省)	17
20	背後圏産業の発展を支え、安全・安心を高める四日市港の整備推進(財務省、国土交通省)	32
16	ワーケーションの社会全体への浸透を図るための 体制等の整備(内閣府、総務省、財務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省)	34
19	リニア中央新幹線の早期全線開業および地方のリニアインパクト 最大化への支援強化(国土交通省)	35

※この要望書は、「令和3年度予算の確保に向けた国への要望」令和2年11月三重県(全庁版)より、国土交通省関係分(国土整備部、四日市港管理組合、雇用経済部、地域連携部)として編綴しています。

9 防災・減災、国土強靭化のさらなる強力な推進

(1) 大都市部への過度な一極集中を是正し、地方創生を実現するための地方における安全・安心の確保（内閣官房、総務省、財務省、国土交通省）

～「命」「安全・安心」を大切にする三重～

3か年緊急対策後も対策が必要な箇所は多数存在

三重県の取組

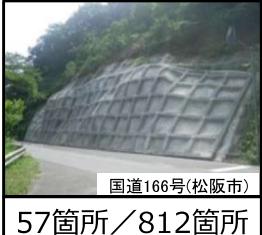
3か年緊急対策等を活用しさまざまな対策を推進！

令和2(2020)年度は、**公共事業費を増額**し、防災・減災・国土強靭化の取組をさらに推進！

新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ景気の下支えに万全を期すため**公共工事の早期着手**を実施！

＜主な対策＞

【道路のり面・盛土対策】



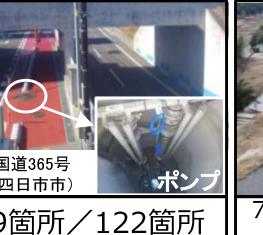
国道166号(松阪市)
57箇所／812箇所

【橋梁耐震対策】



県道鳥羽松阪線 楠部避溢橋(伊勢市)
110橋／172橋

【道路冠水対策】



国道365号(四日市市)
ポンプ
9箇所／122箇所

【河道掘削・樹木伐採】



木津川(伊賀市)
7河川7箇所／19河川136箇所

【河川堤防の耐震化】



鍋田川(木曽岬町)
1河川／25河川

【水門・樋門の耐震化】



前川(志摩市)
3箇所／12箇所

【土砂災害防止施設の整備】



オカ谷(紀北町)
18箇所／49箇所

【高潮対策】



鳥羽港海岸(鳥羽市)
4地区海岸／14地区海岸

3か年緊急対策
実施箇所数

重要インフラ緊急点検
等による要対策箇所数

3か年緊急対策後も対策が必要な
箇所は多数存在！
中長期的かつ明確な見通しのもとに計
画を立て、事業執行することが必要！

要望

- 令和3（2021）年度以降の国土強靭化対策について、事業期間を新たに5か年延長し、中長期的かつ明確な見通しのもとに計画を立て、事業が執行できるようにすること。また、対策内容の充実を図るとともに、大幅な当初予算規模の拡大を図ること。
- 緊急防災・減災事業や緊急自然災害防止対策事業等については、地方自治体の取組状況をふまえ、適切に検討を行い、令和3（2021）年度以降も延長するとともに、地方の実情に沿った、より活用しやすい地方債制度にするなどさらなる充実を図ること。
- 社会資本の整備・管理に加え、災害発生時の迅速かつ円滑な対応等のため、国の地方整備局を含め、現場に必要な人員の確保や体制の維持・充実を図ること。

地方における国土強靭化のさらなる強力な推進に向けて

・対策内容の充実、必要・十分な予算の確保

新型コロナウイルス感染症は、大都市部への過度な一極集中等に伴うリスクを減少・回避することの重要性を改めて認識させた。**大都市部への過度な一極集中を是正し、豊かで暮らしやすい地域の形成と多核連携型の国づくりを目指すため、地方における国土強靭化**を強力かつ緊急に進め、**地方の安全・安心を確保**することが必要！

地方の実情に応じた対策内容の充実が必要！

【道路のミッギングリンク等の整備】 【ダム等の基幹的防災1万の整備】 【インフラの老朽化対策】



熊野尾鷲道路(Ⅱ期)(尾鷲市)



川上ダム(伊賀市)



県道穴倉南神山津線 無名橋(津市)

中長期的な視点に立って具体的目標を掲げ、国土強靭化対策を計画的に取り組み、実効あるものとするためには、**国土強靭化地域計画に事業を明記し、計画に基づき取組を実施**することが必要！

・地方債の延長・充実

令和2(2020)年度で終了予定の地方債

地方債名	充当率	元利償還金に対する 地方交付税措置率
緊急防災・減災事業債	100%	70%
緊急自然災害防止対策事業債	100%	70%
防災・減災・国土強靭化緊急対策事業債	100%	50%

終了予定の事業の
延長や起債制度の
更なる充実が必要！

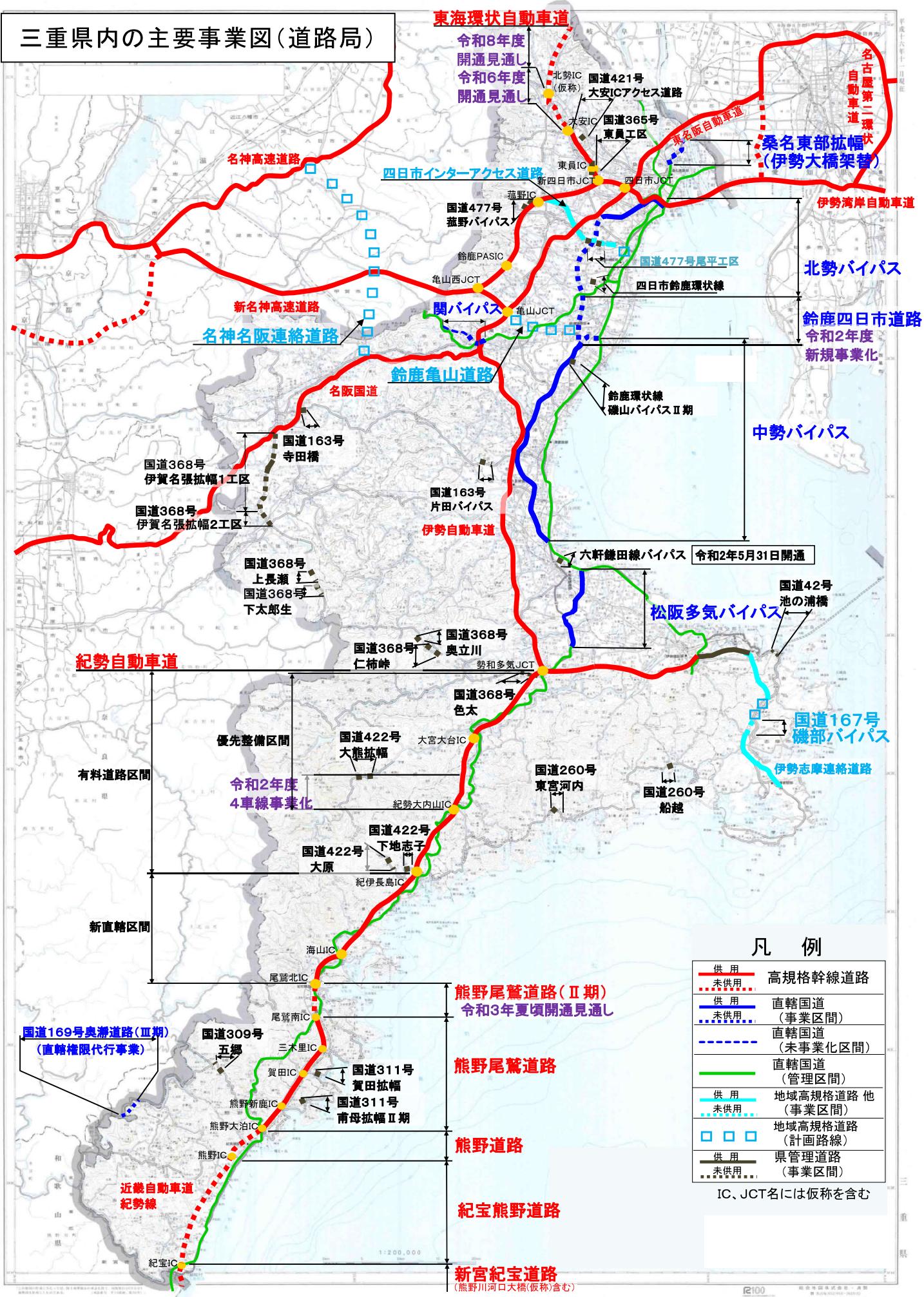
・人員の確保、体制の維持・充実

令和2(2020)年度は、地方整備局の人員(は勘定したものの、自然災害が激甚化・頻発化し、インフラ老朽化が急速に進む中、地域の「防災・減災・国土強靭化」の強化を図るために人員はまだ必要！

現場に必要な
人員の確保
体制の維持・
充実が必要！



三重県内の主要事業図(道路局)



【県土整備部】

国土強靭化に寄与し、中京圏のものづくりを支える東海環状自動車道



大安IC～北勢IC（仮）間

■地域が待ち望む開通



高まる地域の期待

○大安～北勢間
用地取得完了！

感謝

○下部工事が進む
大安～北勢間



有料道路事業費を活用して
開通の前倒しを！

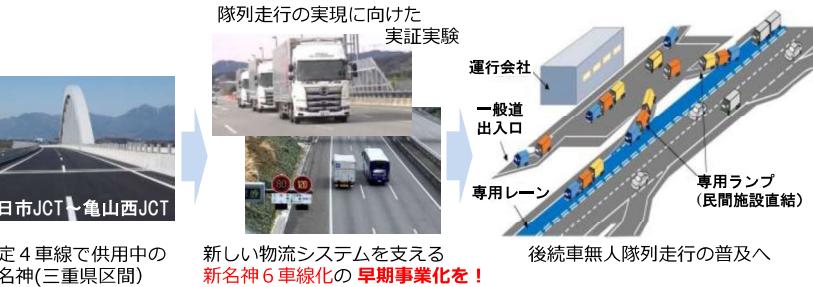


物流の効率化に寄与し、生産性向上に資する新名神高速道路

日本の物流の大動脈である新名神高速道路(三重県区間)の6車線化の早期事業化



■隊列走行実現への基盤となる新名神高速道路の6車線化



要望

- 1 東海環状自動車道について、西回り区間の令和8（2026）年度の開通に向けて着実に整備を推進すること。
- 2 新名神高速道路四日市JCT～亀山西JCT間の6車線化について、早期事業化すること。

東紀州地域の国土強靭化や、地方創生を支える近畿自動車道紀勢線

紀伊半島の未来を支える近畿自動車道紀勢線

- 紀勢線の延伸を見据え、地域活性化の取組が加速！

御浜町に新ホテルが開業！

大台町でも建設中！

観光交流の拡大に期待

新ホテル(R3春開業予定)★

勢和多気JCT

三重県

紀勢大内山IC

東紀州地域

尾鷲北IC

尾鷲南IC

熊野大泊IC

熊野IC

(御浜IC)

(紀宝IC)

R2.10 開業

(新宮北IC)

和歌山県

すさみ串本道路

串本太地道路

新宮道路

奈良県

国際会場(尾鷲市)

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

国体に向け着実な整備を

「ワクセスル」

に期待

令和3(2021)年夏頃 開通予定！

国際会場(尾鷲市)

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

開通済み

事業中

新宮紀宝道路

整備推進を

令和元(2019)年11月起工式開催！

熊野道路

整備推進を

紀宝熊野道路

早期用地取得・整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

すさみ串本道路

串本太地道路

新宮道路

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

国体に向け着実な整備を

「ワクセスル」

に期待

令和3(2021)年夏頃 開通予定！

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

開通済み

事業中

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

すさみ串本道路

串本太地道路

新宮道路

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

国体に向け着実な整備を

「ワクセスル」

に期待

令和3(2021)年夏頃 開通予定！

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

開通済み

事業中

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

すさみ串本道路

串本太地道路

新宮道路

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

国体に向け着実な整備を

「ワクセスル」

に期待

令和3(2021)年夏頃 開通予定！

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

開通済み

事業中

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

すさみ串本道路

串本太地道路

新宮道路

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

国体に向け着実な整備を

「ワクセスル」

に期待

令和3(2021)年夏頃 開通予定！

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

開通済み

事業中

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

すさみ串本道路

串本太地道路

新宮道路

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

国体に向け着実な整備を

「ワクセスル」

に期待

令和3(2021)年夏頃 開通予定！

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

開通済み

事業中

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

すさみ串本道路

串本太地道路

新宮道路

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

国体に向け着実な整備を

「ワクセスル」

に期待

令和3(2021)年夏頃 開通予定！

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

開通済み

事業中

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

すさみ串本道路

串本太地道路

新宮道路

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

国体に向け着実な整備を

「ワクセスル」

に期待

令和3(2021)年夏頃 開通予定！

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

開通済み

事業中

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

すさみ串本道路

串本太地道路

新宮道路

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

国体に向け着実な整備を

「ワクセスル」

に期待

令和3(2021)年夏頃 開通予定！

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

開通済み

事業中

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

すさみ串本道路

串本太地道路

新宮道路

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

国体に向け着実な整備を

「ワクセスル」

に期待

令和3(2021)年夏頃 開通予定！

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

開通済み

事業中

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

すさみ串本道路

串本太地道路

新宮道路

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

国体に向け着実な整備を

「ワクセスル」

に期待

令和3(2021)年夏頃 開通予定！

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

開通済み

事業中

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

すさみ串本道路

串本太地道路

新宮道路

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

国体に向け着実な整備を

「ワクセスル」

に期待

令和3(2021)年夏頃 開通予定！

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

開通済み

事業中

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

すさみ串本道路

串本太地道路

新宮道路

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

国体に向け着実な整備を

「ワクセスル」

に期待

令和3(2021)年夏頃 開通予定！

熊野尾鷲道路(Ⅱ期)

開通済み

事業中

新宮紀宝道路

整備推進を

令和2(2020)年9月記念碑を建立！

新宮紀宝道路

整備推進を

17 「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「豊かで暮らしやすい地域の形成と多核連携型の国づくり」に資する社会资本整備の推進 (財務省、国土交通省)

(財務省、国土交通省)

南北主要幹線道路のダブルネットワーク化が地域課題の解決につながる北勢バイパス、鈴鹿四日市道路、中勢バイパス



要望 1 国道23号鈴鹿四日市道路の整備を推進すること。
2 国道1号北勢バイパス、国道23号中勢バイパスの全線開通に向け整備を推進し、国道1号北勢バイパスについては市道日永八郷線から国道477号バイパスの間、国道23号中勢バイパスについては4工区について、早期に開通見通しを公表すること。

17 「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「豊かで暮らしやすい地域の形成と多核連携型の国づくり」に資する社会资本整備の推進

(財務省、国土交通省)

物流効率化・産業振興に大きく寄与する 国道1号桑名東部拡幅(伊勢大橋架替)

重量制限解除で大幅な物流効率化を実現

伊勢大橋の耐荷力不足により 20t超過車両(特車)の通行が制限されている

伊勢大橋架替により



生産拠点間の輸送時間が短縮され、大幅な物流の効率化に期待



朝田町南交差点の立体化で企業の生産性向上に寄与する 国道42号松阪多気バイパス

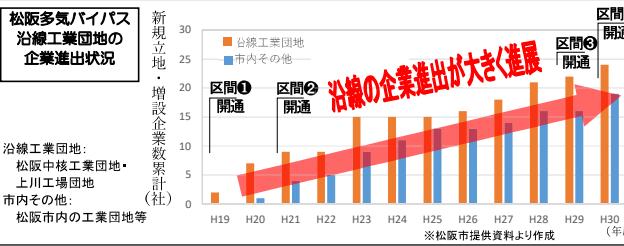
既開通区間の渋滞を解消

バイパス全線開通後、交通量の増加に伴い、朝田町南交差点のバイパス部の渋滞が悪化

立体化の整備推進により



渋滞が解消され、企業の生産性向上に大きく寄与



南北の広域ネットワーク構築により産業発展を支援する 名神名阪連絡道路

三重・滋賀の工場集積地の物流ネットワークの構築

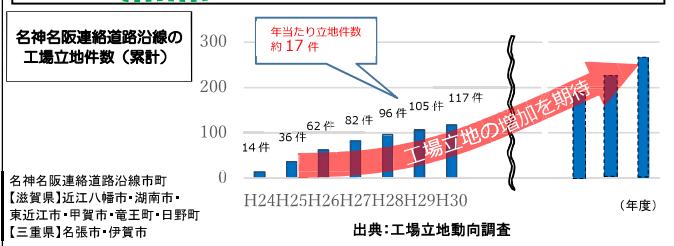
滋賀県甲賀、東近江地域と、三重県伊賀地域の工場集積地を結ぶ重要な道路

名神名阪連絡道路が整備されると、北陸方面の客先に行きやすくなったり、滋賀県の取引先が使いやすくなることを期待しています。

伊賀市内の企業の声

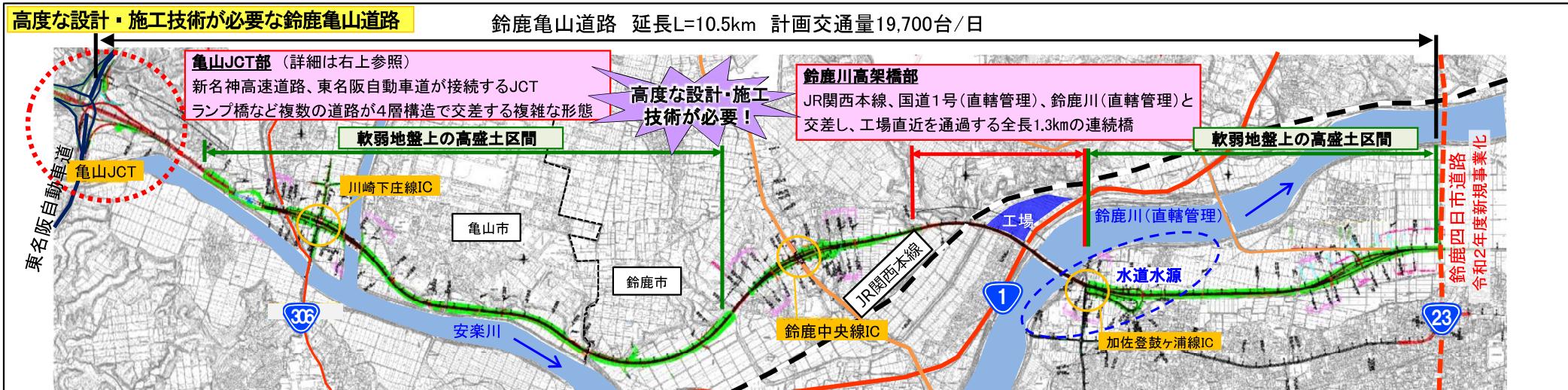
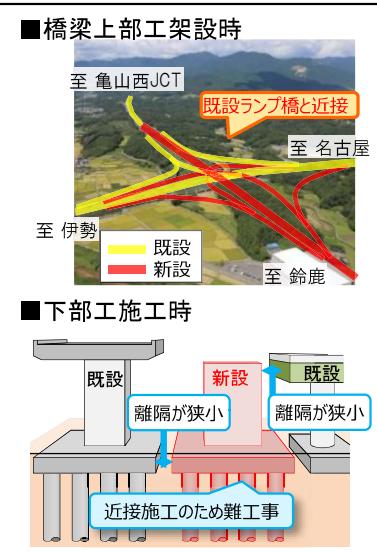
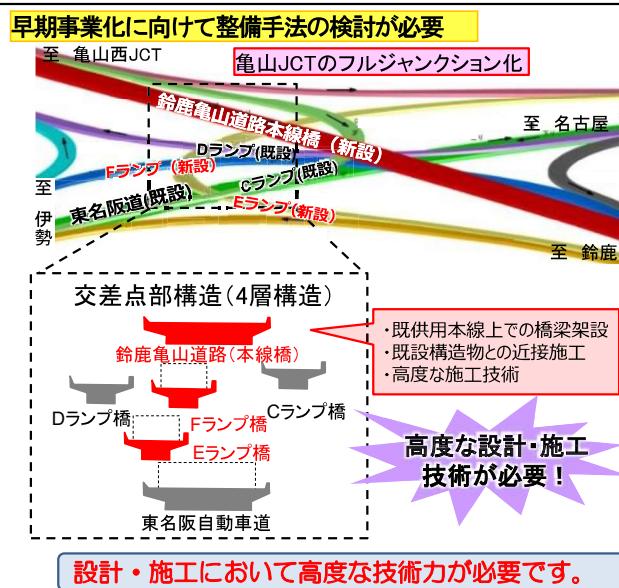
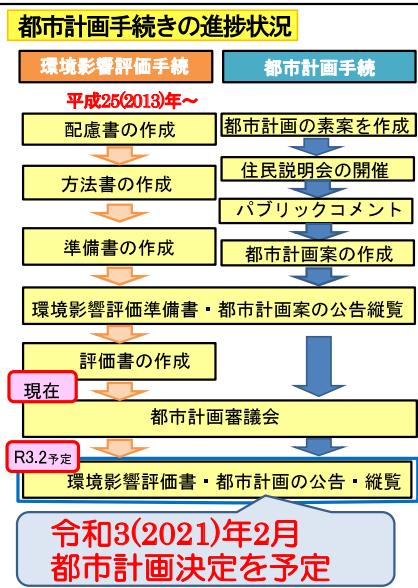
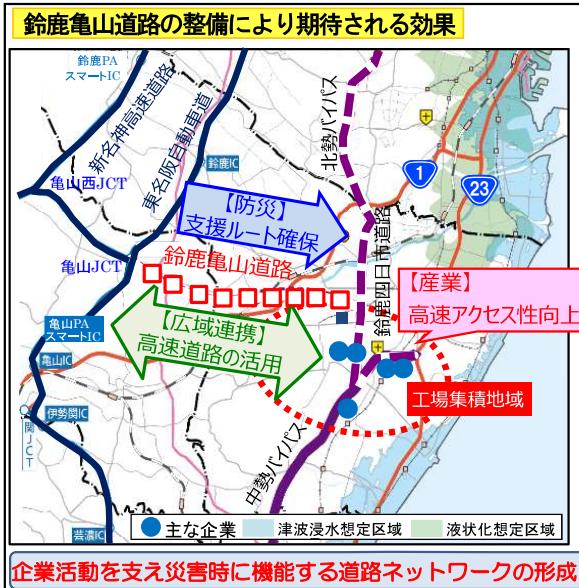
南北の物流ネットワーク強化により

生産性と成長力の引上げに期待



- 要望**
- 1 国道1号桑名東部拡幅の老朽化著しい伊勢大橋の架替について、強力に整備を推進すること。
 - 2 国道42号松阪多気バイパスの朝田町南交差点立体化について、着実に整備を推進するとともに、4車線化に事業着手すること。
 - 3 名神名阪連絡道路の国による調査を推進し、連携して計画の具体化を図るとともに、「重要物流道路」として指定すること。

三重県のさらなる産業発展を支え、災害時に機能する鈴鹿亀山道路



要望

- 1 令和3（2021）年2月に都市計画決定予定の鈴鹿亀山道路について、早期事業化に向け整備手法の検討を支援すること。
- 2 鈴鹿亀山道路を「重要物流道路」として指定すること。

17 「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「豊かで暮らしやすい地域の形成と多核連携型の国づくり」に資する社会资本整備の推進

(財務省、国土交通省)

木曽三川

流域の特性

- 国内最大の海拔ゼロメートル地帯
- 観光施設や生産拠点が立地



現在の主な取組

- 海拔ゼロメートル地帯等における堤防耐震対策
- 3か年緊急対策を活用した耐震対策

課題

- 南海トラフ地震の今後30年内の発生確率が70~80%！
- 堤防が沈下すると、津波浸水被害は広範囲かつ長時間に及ぶ
⇒日本経済への影響は甚大！
- 3か年緊急対策後も耐震対策が必要な区間が多くあるため、
早期に耐震対策の実施が必要！

課題解決に向けて

切迫する南海トラフ地震に備え、
堤防耐震対策のさらなる推進が必要！

鈴鹿川・雲出川・櫛田川・宮川

流域の特性

- 道路(国道23号)、鉄道(近鉄・JR)等の幹線交通網
- 石油コンビナート等の生産拠点や主要な市街地を形成
- 人口 約113万(県内の64%)
- 製造品出荷額 約6.8兆円(県内の64%)

現在の主な取組

- 水害の頻発・激甚化に対応する治水対策
- 3か年緊急対策を活用した河道掘削等

課題

- 「令和元年東日本台風」により、国管理河川で14箇所、県管理河川で128箇所の堤防が決壊、「令和2年7月豪雨」では梅雨前線の停滞により国が管理する7河川、県が管理する186河川で氾濫が発生
- 今後、気候変動により水災害リスクが増加！(今世紀末の洪水の発生確率は20世紀末と比べ約2倍と計算)
- 堤防決壊した場合、生産拠点の浸水や、交通の遮断により、日本経済への影響は甚大！
- 3か年緊急対策後も**直轄河川の早急な治水対策の推進が必要！**
(三重四川の堤防整備状況 約60~66%)

課題解決に向けて

治水対策(河道掘削等)に加え、流域全体で行う「流域治水」へ転換を進めることが必要！

勢田川

平成29(2017)年台風第21号

- 被害状況(伊勢市)
 - ・死者 1名
 - ・床上浸水 409棟
 - ・床下浸水 670棟

現在の主な取組

- 再度災害防止対策 国・県・伊勢市が連携
勢田川流域等浸水対策実行計画策定(H30.6.19)

課題

- 国: 3か年緊急対策を活用し、**令和2(2020)年度未完了**に向けた勢田川の河道掘削
- 県: 3か年緊急対策を活用し、桧尻川暫定河道掘削が完成





勢田川(国) 河道掘削



桧尻川(県) 河道掘削

課題

- 平成29(2017)年10月(台風第21号)洪水をふまえ、**早期の被害軽減対策が必要！**
- 3か年緊急対策後も早期に桧尻川排水機場ポンプ増強等の実施が必要！

課題解決に向けて

再度災害防止のため、浸水対策実行計画に基づく治水対策(ポンプ増強等)のさらなる推進が必要！

「3か年緊急対策」後も強力かつ継続的な予算確保および事前防災・減災対策の加速化を！

要望

木曽三川および鈴鹿川・雲出川・櫛田川・宮川・勢田川の直轄河川改修事業について、引き続き強力かつ継続的に進めるための予算を確保し、事前防災・減災対策の加速化を図ること。

【県土整備部】9

17 「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「豊かで暮らしやすい地域の形成と多核連携型の国づくり」に資する社会资本整備の推進

(財務省、国土交通省)

川上ダム・木津川直轄河川事業

伊賀地域は、近畿圏、中部圏の2大都市圏の中間に位置し、企業立地に好条件！



地域の現状

■低い治水安全度

・数年に一度は浸水

最近の 浸水	事象		浸水面積	浸水戸数
	H21.10	台風18号	5.3ha	32戸
		H24. 9	台風17号	0.07ha
		H25. 9	台風18号	28ha
				150戸

■不安定な水道水源

・水源の一部は、川上ダム建設を前提とした暫定水利権
・既存水道施設も老朽化

3点セットで「治水安全度の向上」と「安定的な水源の確保」を実現！

上野遊水地
平成27(2015)年度
運用開始

川上ダム
令和4(2022)年度
完成に向け
本体施工中

河道掘削
(木津川・服部川・柘植川)
平成28(2016)年度から実施

● 治水安全度が向上！

戦後最大規模の洪水(S28 台風第13号)による被害がゼロに！
浸水戸数844戸 ⇒ 0戸 浸水面積526ha ⇒ 0ha

● 川上ダムにより安定的な水源の確保！

川上ダムは順調に進捗中

事業工程

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
ダム本体工事						
試験湛水						

令和元(2019)年9月
令和元(2019)年12月

本体コンクリート打設
定礎式



本体施工状況
25t吊クレーン 25t吊クレーン

定礎式(令和元(2019)年12月15日)

令和4(2022)年度事業完了に向けた必要な予算確保を！
一日も早い完成のため進捗UP！

河道掘削・引堤の推進

● 河道掘削



● 服部川三田地区浸水対策(引堤)



令和元年東日本台風では国管理河川で14箇所の堤防が決壊し、
令和2年7月豪雨では国管理の7河川で氾濫が発生するなど
全国各地で甚大な被害が発生！

更なる治水安全度向上のため、木津川・服部川・柘植川
の河道掘削および服部川(三田地区)における引堤の推進を！

「3か年緊急対策」後も必要な予算確保および事前防災・減災対策の加速化を！

名張川直轄河川事業

名張かわまちづくり一体型浸水対策事業(I期)の推進



現在の主な取組

● 堤防整備(引堤)



● 築堤、樋門整備



名張かわまちづくり一体型浸水対策事業(I期)
起工式を開催し、本格的に事業着手！

・令和元年東日本台風では、河道掘削・樹木伐採の実施により、名張水位観測所において、約0.4mの水位低減効果を発揮し、溢水を回避！
・上流ダム群(青蓮寺ダム・室生ダム・比奈知ダム)が本来有している洪水調節機能を発揮させるには、名張川の事業推進が必要！(淀川水系河川堤防整備状況約61%)

令和元年東日本台風では全国の河川合流部においてバッカウーター現象により多数の堤防が決壊、令和2年7月豪雨でも同現象による浸水被害が多数発生！

更なる治水安全度向上のため、川を活かした地域づくりの核となる名張川(黒田地区)における引堤・河道掘削の推進を！

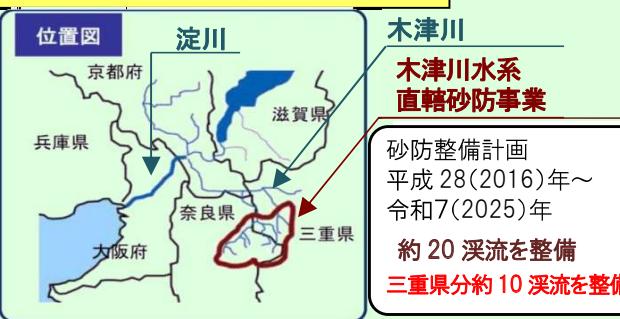
要望

- 1 川上ダムについて、令和4(2022)年度の事業完了に向け、必要な予算を確保するとともに、一日も早く完成すること。
- 2 名張川および木津川・服部川・柘植川の直轄河川改修事業について、引き続き強力かつ継続的に進めるための予算を確保し、事前防災・減災対策の加速化を図ること。

17 「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「豊かで暮らしやすい地域の形成と多核連携型の国づくり」に資する社会资本整備の推進 (財務省、国土交通省)

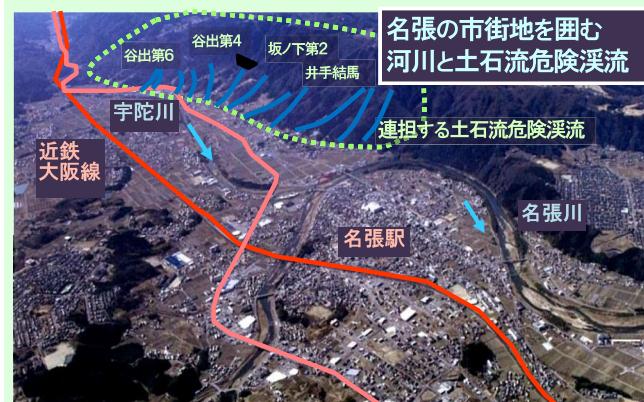
(財務省、国土交通省)

木津川水系直轄砂防事業の推進



- 人口8万人の名張市街地
- 大阪・奈良・三重を東西に結ぶ主要な交通基盤
　国道165号【交通量 約2万台/日】
- 近鉄大阪線【名張駅乗降人員 約1万2千人/日】
- が土砂災害と氾濫から守られ、
**住民、主要な交通基盤と利用者の
安全が確保されます。**

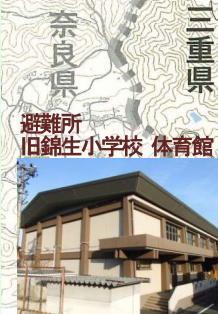
さらなる事業の推進を!



実施箇所図

整備すべき渓流は、まだ残っており
引き続き整備が必要！

谷出3 3か年緊急対策 R1完成



土石流危険渓流が宇陀川沿いに連担しており、要配慮者利用施設、公共施設、国道なども保全されます！

事業概要

● 谷出第4堰堤、谷出第6堰堤



谷出 4	谷出 6	坂ノ下 2	井手 結馬
令和2(2020)年度			
用地買 収、 堰堤工	用地買 収、 堰堤工	用地買 収、 工事用 道路工	流木止 工
令和3(2021)年度			
堰堤工	堰堤工	堰堤工	一

● 坂ノ下第2堰堤、井手結馬堰堤



要望 木津川水系直轄砂防事業について、引き続き強力かつ継続的に進めるための予算を確保し、事前防災・減災対策の加速化を図ること。

17 「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「豊かで暮らしやすい地域の形成と多核連携型の国づくり」に資する社会资本整備の推進

(財務省、国土交通省)

七里御浜海岸 延長 約 20km (熊野市、御浜町、紀宝町)



海浜侵食状況（井田地区海岸）



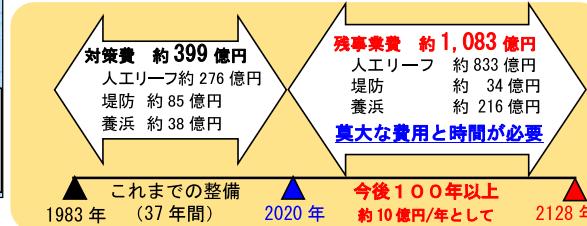
熊野川の掘削土砂を、
七里御浜海岸へ大規模に投入中
【連携】直轄河川改修事業→県単独事業

七里御浜海岸の課題

○被災リスクが高い（平成以降に7度被災）

被災年	被災原因	海岸名	復旧内容
平成 6年	台風第26号	井田地区海岸	人工リーフ 3基（新設）
平成 9年	台風第 7号 台風第 9号	井田地区海岸	堤防工 552m 根継工 168m 人工リーフ 4基（新設）
平成16年	台風第16号	井田地区海岸	堤防工 300m
平成23年	台風第12号	有馬地区海岸 阿田和地区海岸	堤防工 52m 排水施設 1式 人工リーフ 2基 堤防工 28m
平成25年	台風第18号	井田地区海岸	堤防工 257m
平成29年	台風第21号	井田地区海岸	人工リーフ 1基 堤防工 40m

●膨大な事業費が必要



●高度な技術力が必要

- 景観への配慮
 - ・国立公園、世界文化遺産
 - ・日本の渚百選、日本の白砂青松百選
- 過酷な施工条件
 - ・急峻な海底勾配（1/10）
 - ・太平洋の高波が来襲
- 長大な砂利浜の保全
 - ・熊野川流域の総合的な土砂管理
 - ・モニタリング等による順応的な砂浜保全
- 大規模な波浪制御施設の整備
 - ・人工リーフ 【全体 77基、残 57基】

●対策が複数の県に跨る

- 熊野川流域（三重県・奈良県・和歌山県）から発生する土砂の管理が必要
- 熊野川の複数の管理者、関係機関との調整が必要

熊野川

流域の現状

○濁水の長期化



現在の取組

熊野川の総合的な治水対策協議会

国・三重県・奈良県・和歌山県・沿川市町村・ダム管理者が連携し、治水対策や濁水対策を推進

□河道掘削 直轄河川改修事業 H29~R3

国：緊急対策特定区間の早期完了を！

県：防災・安全交付金、個別補助事業で実施

熊野市和気地区 令和2(2020)年度完了予定



七里御浜海岸直轄事業化

成果

○令和元(2019)年台風第10号では、河道掘削やダムの治水協力により日足地区で約1.3mの水位低減効果を確認（家屋浸水被害無し）

課題

○降雨数日後には紀伊半島大水害前と同程度の低い濁度に戻り、効果が発現しつつある。しかし、降雨時には今もなお高い濁度であることから、引き続きの流域対策が必要！

↓ 濁水対策の完了目標は、令和3(2021)年度末！

緊急対策特定区間に於ける直轄河川改修事業の確実な実施を！

協議会でとりまとめた治水対策や濁水対策の確実な実施を！
取組の確実な実施に向けて国によるマネジメントのさらなる強化を！

要望

- 1 「高度な技術を要する総合的な土砂管理」が必要なため、七里御浜海岸の整備を直轄事業化すること。
- 2 熊野川緊急対策特定区間に於ける直轄河川改修事業を確実に実施すること。
- 3 熊野川の総合的な治水対策協議会でとりまとめた取組を確実に実施するとともに、国によるマネジメントのさらなる強化を図ること。

令和元(2019)年の台風第10号
相野谷川（高岡地区）において
計画高水位超過！

○水害の頻発化・激甚化

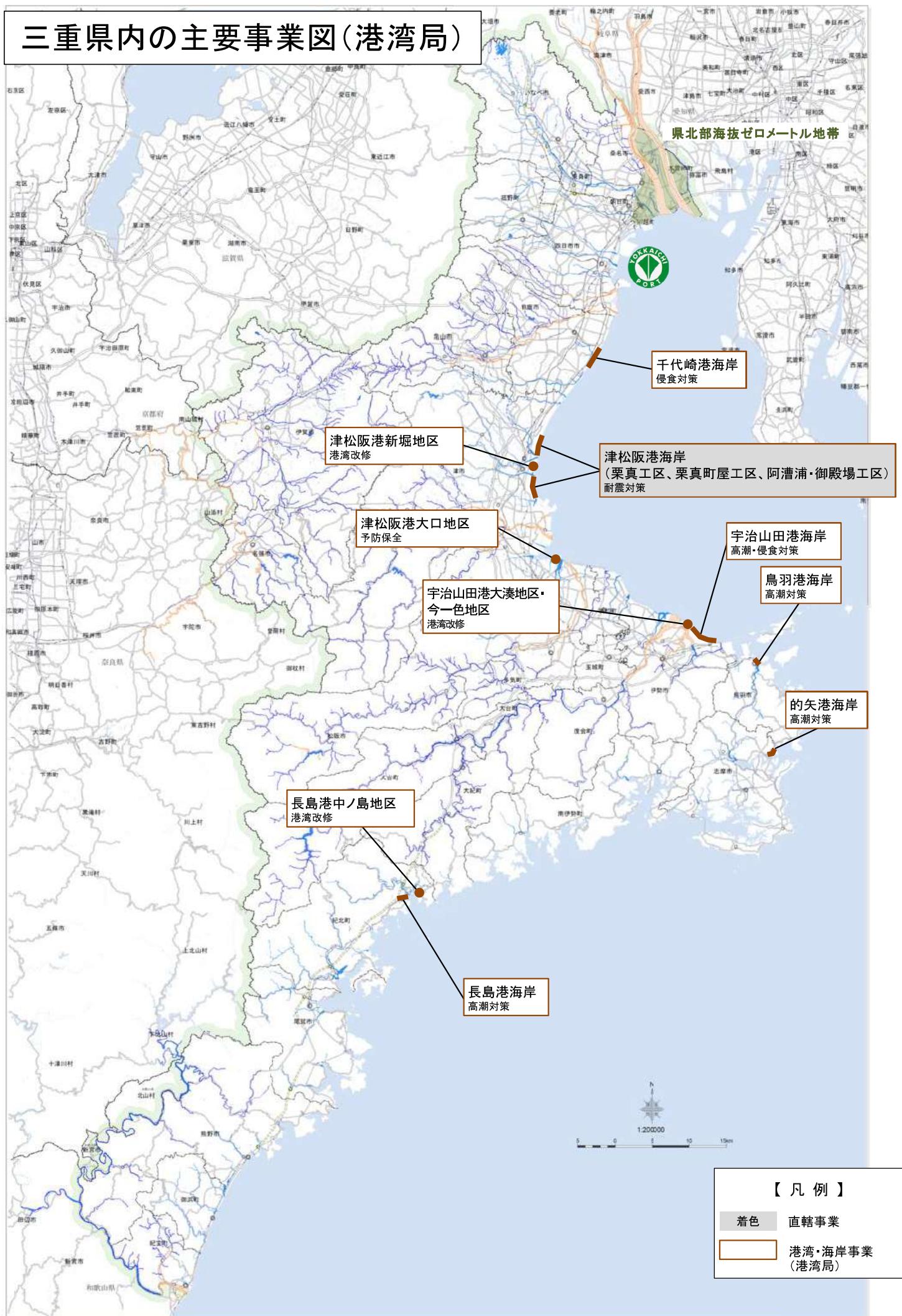


令和元(2019)年台風第10号の相野谷川



熊野川（県）河道掘削

三重県内の主要事業図(港湾局)



17 「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「豊かで暮らしやすい地域の形成と多核連携型の国づくり」に資する社会资本整備の推進

(財務省、国土交通省)

津松阪港 直轄海岸保全施設整備事業

水管理・国土保全局、水産庁所管海岸の整備もさらに推進します。
津北部地域海岸の整備を県も推進しています。

- ・水国局所管 上野・白塚海岸
令和元(2019)年度～海岸保全施設整備連携事業
(個別補助事業化により整備を加速)
- ・水産庁所管 白塚漁港海岸
海岸保全施設整備事業 令和元(2019)年度工事着手

津松阪港海岸	栗真工区
栗真町屋工区	阿漕浦・御殿場工区
全体事業費	160.0 億円
整備期間	2011年～2023年
整備延長	6.7 km

三重とこわか国体 2021

津松阪港海岸はセーリングとビーチバレーの開催会場となっています。

セーリング
2021

ビーチバレー
ボール
2021

出典: 国土地理院 H.P.

直轄事業凡例

- 整備中
- 整備済

**海岸堤防の耐震化により背後地の安全・安心が向上
さまざまなストック効果が発現しています。**

①株式会社百五銀行
新本館ビルの建設(H27)
津市避難ビルとして活用
延べ床面積36千m²

②三重大学附属病院
新外来病棟を新設(H27)
最新のCT装置などを導入
延べ床面積28千m²

③倉敷紡績(株)三重工場
建物・設備の拡大(H24)
生産・開発体制を強化
延べ床面積約15千m²

セーリング会場付近
(令和2(2020)年3月完成)

ビーチバレー会場付近
(令和2(2020)年8月完成)

阿漕浦・御殿場工区 (2-2工区)

国体開催に向けて進められてきた会場周辺の整備状況

セーリング会場

ビーチバレー会場

セーリング会場付近
(令和2(2020)年3月完成)

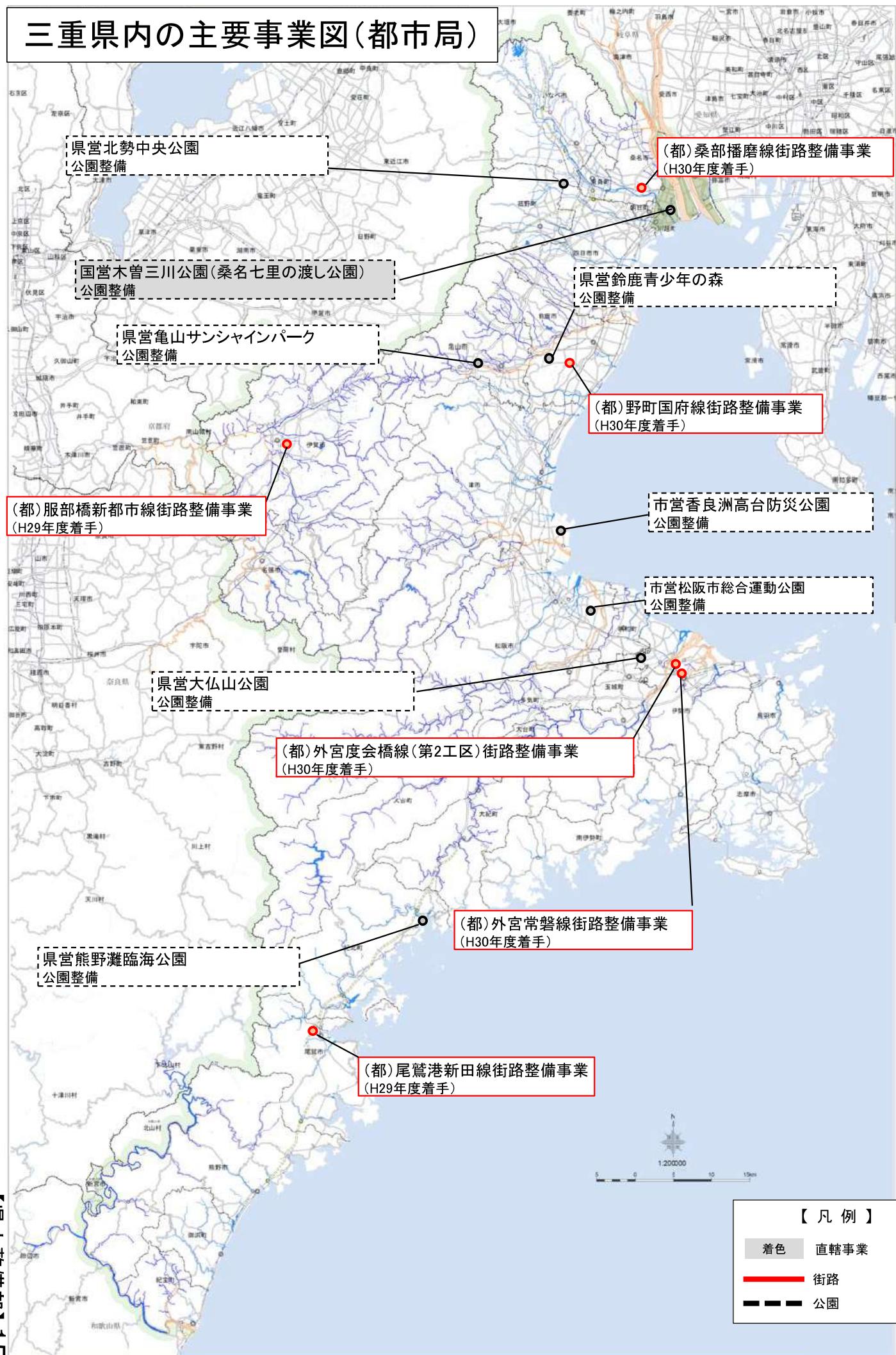
ビーチバレー会場付近
(令和2(2020)年8月完成)

要望 令和5(2023)年度の事業完了に向け、津松阪港直轄海岸事業の整備を強力に推進すること。

14

【県土整備部】

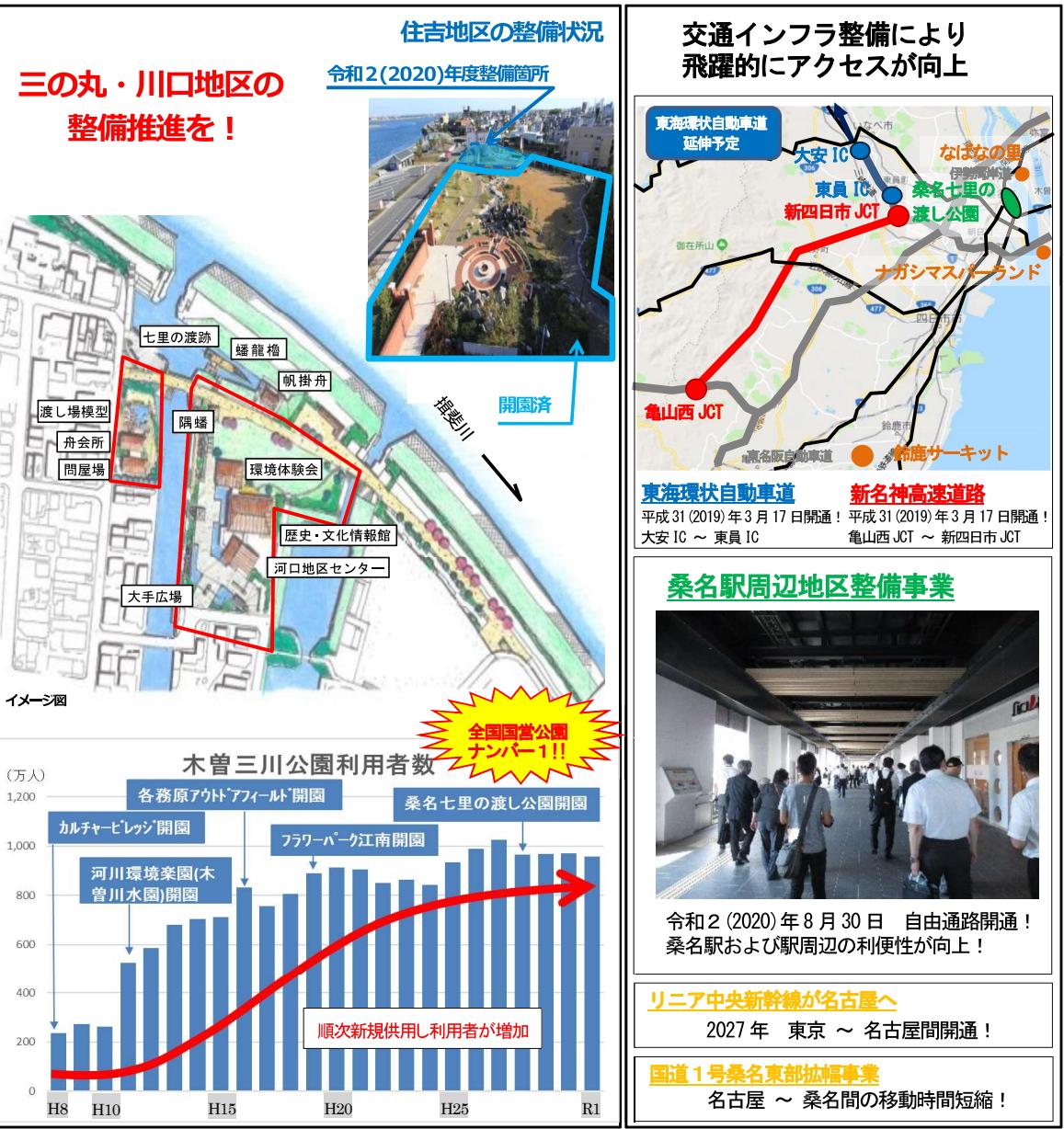
三重県内の主要事業図(都市局)



17 「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「豊かで暮らしやすい地域の形成と多核連携型の国づくり」に資する社会资本整備の推進

(財務省、国土交通省)

国営木曽三川公園（桑名七里の渡し公園）の整備推進



要望

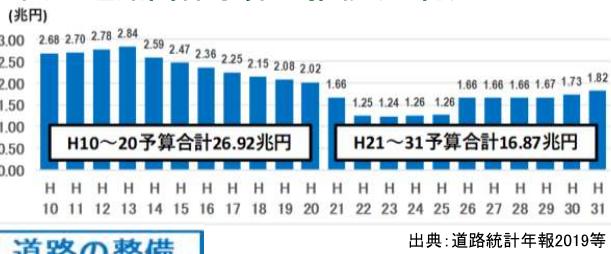
国営木曽三川公園（桑名七里の渡し公園）の早期全面開園をめざし、三の丸・川口地区の整備を推進すること。

18 社会資本整備に係る地方財政への支援・充実

(国土交通省)

有料道路制度の積極的な活用や新たな財源の創設

○国の道路関係予算の推移(当初)



道路の整備

国の大規模構造物の新設・改築は、平成13(2001)年度をピークに減少！平成22(2010)年度に大きく減少！平成26(2014)年度以降は微増しているが、以前の予算額までは回復していない！

○三重県管理道路の改良状況



道路の管理

改良済延長の伸び率は平成20(2008)年度までは1.10倍であったが、平成21(2009)年度以降は1.03倍と鈍化している！

○法定点検施設以外の老朽化対策



○のり面老朽化対策



有料道路制度の活用により創出される予算による道路の整備・管理の推進を！

今後対応が求められる法定点検施設以外(のり面、排水施設等)の老朽化対策を実施するには、現状以上の予算の確保が必要！

法定点検施設以外の老朽化対策を着実に実施していくため、長期安定的な予算の確保が必要！

新たな財源の創設を！

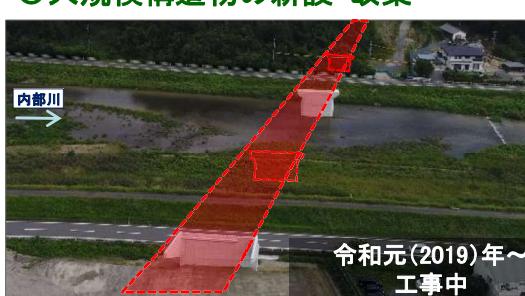
既設グランドアンカーの老朽化



有料道路制度の活用により創出される予算による道路の整備・管理の推進を！

個別補助制度の拡充

○大規模構造物の新設・改築



令和元(2019)年～
工事中

県道 四日市鈴鹿環状線(四日市市)
花ノ木橋(仮称)(140m(3径間))
事業費 約9億円 工事期間 約4年間



県道 鈴鹿環状線(磯山バイパス)
伊勢鉄道アンダー(190m)
事業費 約22億円 工事期間 約6年間

計画的に整備を進めるため、重点的な予算配分が必要！

○法指定踏切の抜本的な改良



対策前

市道上浜町大谷町第1号線(津市)
大谷踏切 [JR東海・伊勢鉄道]
事業費 約25億円



対策後(イメージパース)

鉄道事業者と合意した『踏切改良計画』により、令和5(2023)年度までに対策完了が必要！

踏切の抜本的な改良は、複数年にわたり集中的な予算が必要！

大規模構造物の新設・改築および法指定踏切の抜本的な改良について
個別補助制度の拡充を！

要望

- 1 地方が真に必要とする道路の整備・管理を長期安定的に推進するため、有料道路制度の積極的な活用や新たな財源の創設を行うこと。
- 2 大規模構造物(橋梁・トンネル等)の新設・改築および法指定踏切の抜本的な改良について、個別補助制度を拡充すること。

18 社会資本整備に係る地方財政への支援・充実

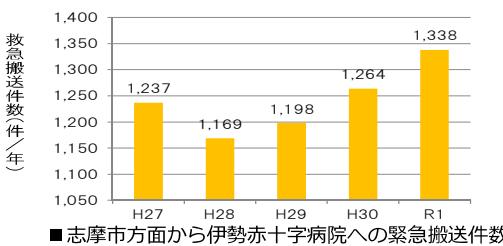
(国土交通省)

地域高規格道路の整備推進に必要な予算の確保

■国道167号磯部バイパス

救急搬送活動への支援

- 志摩市方面から伊勢市内の病院への救急搬送件数の増加
⇒ 磯部バイパスの整備により搬送時間の短縮、走行時の安全性の向上、患者の負担軽減を図る



緊急輸送道路の機能強化

- 国道167号は第1次緊急輸送道路に指定されているが津波浸水想定区域を通過している。
- 伊勢磯部線は第2次緊急輸送道路に指定されているが事前雨量規制区間にも指定されており、大雨時は通行不能となる。
⇒ 災害時の緊急輸送道路の機能として脆弱
⇒ 磯部バイパスの整備により、津波浸水区域や事前雨量規制区間を回避



要望

- 地域高規格道路国道167号磯部バイパスの整備推進に必要な予算を確保すること。
- 高速道路のインターチェンジへのアクセスを強化する国道421号大安ICアクセス道路の整備推進に必要な予算を確保すること。
- 地方創生等に資する道路整備に必要な社会資本整備総合交付金の所要額を確保すること。

インターアクセス道路の整備推進に必要な予算の確保

■国道421号大安ICアクセス道路

東海環状自動車道(大安IC～北勢IC(仮))令和6(2024)年度開通予定

- 国道421号の現道で慢性的な渋滞
⇒ 大安ICアクセス道路の整備により交通を分散させ大安ICへのアクセス向上を図る



地方創生等に資する道路整備に必要な社会資本整備総合交付金の確保

- 地域経済の活性化や生産性の向上のための道路ネットワークを形成し、地方創生等に資する道路整備の推進が必要であるが、予算が十分でなく計画的な事業進捗を図ることが困難な状況

⇒ 社会資本整備総合交付金の所要額確保が必要



〔六軒鎌田線バイパス〕令和2(2020)年5月31日供用開始
・市街地の渋滞緩和や、港及び高速道路ICの利活用促進による地域の活性化に期待！

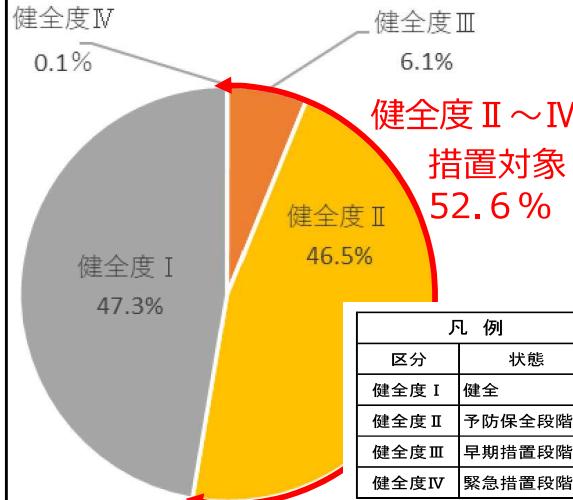


18 社会資本整備に係る地方財政への支援・充実

(国土交通省)

道路インフラメンテナンスを進めるための採択要件の拡充と予算確保

法定点検施設の1巡目点検結果



1巡目点検での措置対象となる健全度Ⅱ～健全度Ⅳは全施設の52.6%

措置対象内の割合

健全度Ⅱ： 46.5% (88.3%)

健全度Ⅲ： 6.1% (11.6%)

健全度Ⅳ： 0.1% (0.1%)

措置対象となる健全度Ⅱについても積極的な採択が必要

道路トンネルの非常用施設の更新はシステム全体の交換が必要

道路トンネルでは延長等に応じて、非常用施設（通報設備、警報設備、消火設備等）設置が義務化されている 県内29箇所

非常用施設は、トンネル本体と同様に老朽化するため、安全確保には、大規模な設備更新が必要

採択要件を拡充し、トンネル本体と同様に、非常用施設の更新も国庫補助事業の対象とすることが必要



区画線など路面標示の塗替えに関する連携強化

区画線など路面標示の視認性の確保は、接続するそれぞれの道路管理者によって支えられている

三重県では、区画線など路面標示の剥離が進んでいるため、平成29(2017)年度に全ての県管理道路の区画線について点検を実施

【点検結果】

剥離度Ⅰ・Ⅱ： 9,700km

剥離度Ⅲ： 800km

剥離度Ⅳ： 1,400km

極めて剥離の進んだ「剥離度Ⅳ」について、令和2(2020)年度中の完了を目指し塗替え中

路面標示を管理する直轄事務所・県・県警が連携して取り組みを進めるため、令和2(2020)年7月、「路面標示連絡調整会議」を設立し、交差点などの同時塗り直しやICTを活用した路面標示点検のAI判定などについて検討中

凡 例	
区分	状態
剥離度Ⅰ	剥離なし
剥離度Ⅱ	やや剥離あり
剥離度Ⅲ	剥離が進んでいる
剥離度Ⅳ	極めて剥離が進んでいる



今後、関係機関が連携して、区画線の塗替えを計画的に進めていく

交差点部区画線の劣化状況

安全な通行確保のため、区画線の塗替えについて、交差点部の同時施工など、国等との連携強化が必要

要望

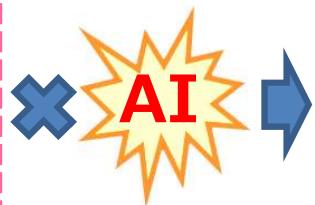
- 1 道路インフラメンテナンスを確実に進めるため、採択要件の拡充と必要な予算の確保を図ること。
- 2 区画線など路面標示の塗替えについて、県と連携して計画的に進めること。

18 社会資本整備に係る地方財政への支援・充実

(国土交通省)

日進月歩で進化するAIを活用し、安心・安全で円滑な移動と道路ストックの適切な維持修繕を目指して

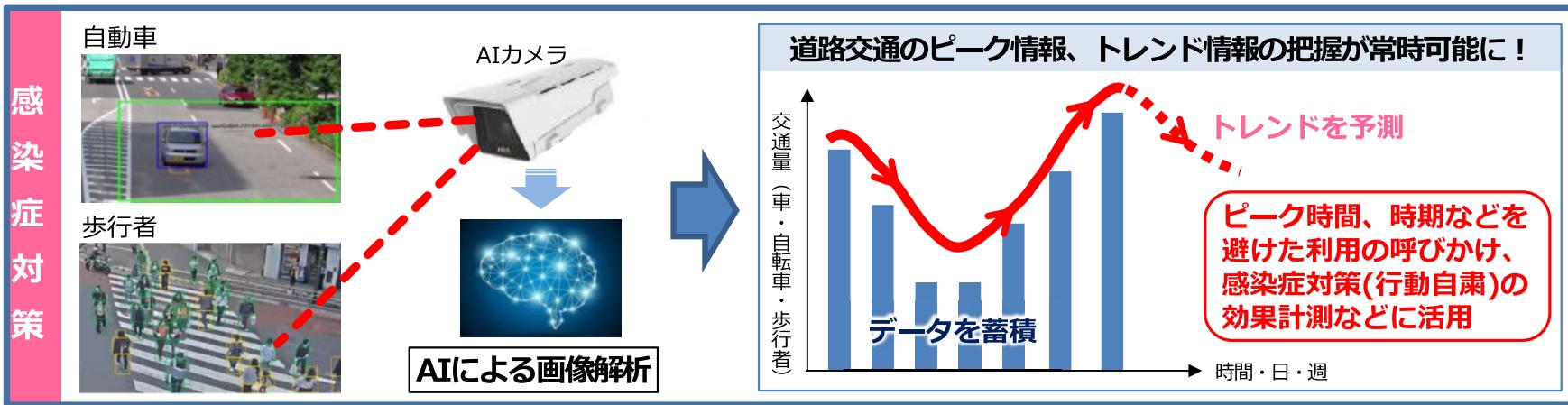
- ・交通量・渋滞・事故等の現場状況
- ・異常気象時の道路冠水・雪等による車両停滞状況
- ・区画線や路面性状の状況などが、シームレスに把握できない。



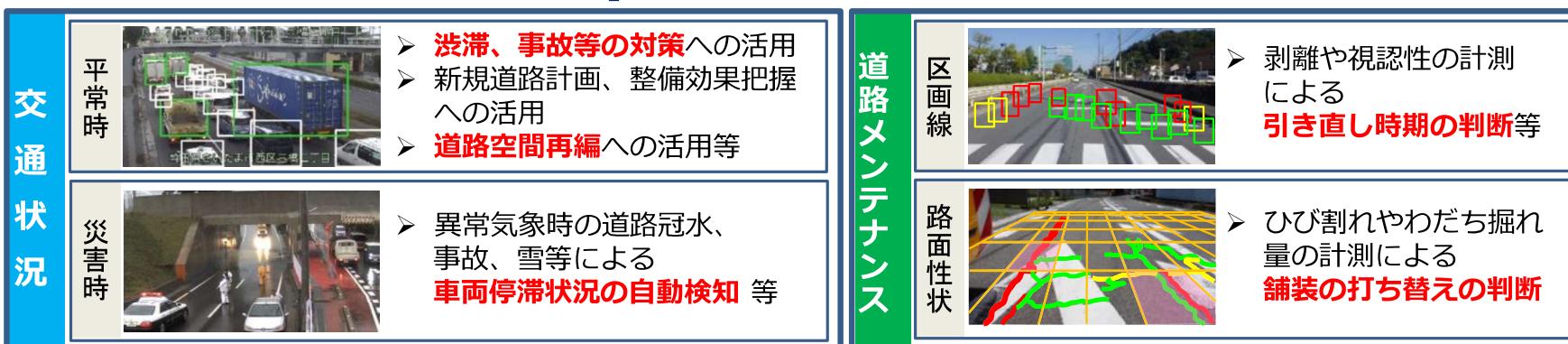
平時でも災害時でもコロナ禍でも！

AIによる画像解析で交通状況
(車・自転車・歩行者) や路面状況などの
モニタリングが可能

- ・迅速で効果的な交通状況の情報提供
- ・適切で効率的なメンテナンス



+ 今後、さまざまな活用が可能



令和2年度補正予算にて、観光地や主要駅周辺の県管理道路にAIカメラを10機配備！

さらなる増強を予定！

要 望

AIを活用した交通状況のモニタリングや道路メンテナンスの強化に向けた支援を行うこと。

18 社会資本整備に係る地方財政への支援・充実

(国土交通省)

多様な交通モード間の接続強化と人・モノの流れの円滑化、地域の活性化、災害対応の強化に向けて

<桑名駅> 自由通路及び橋上駅舎が完成



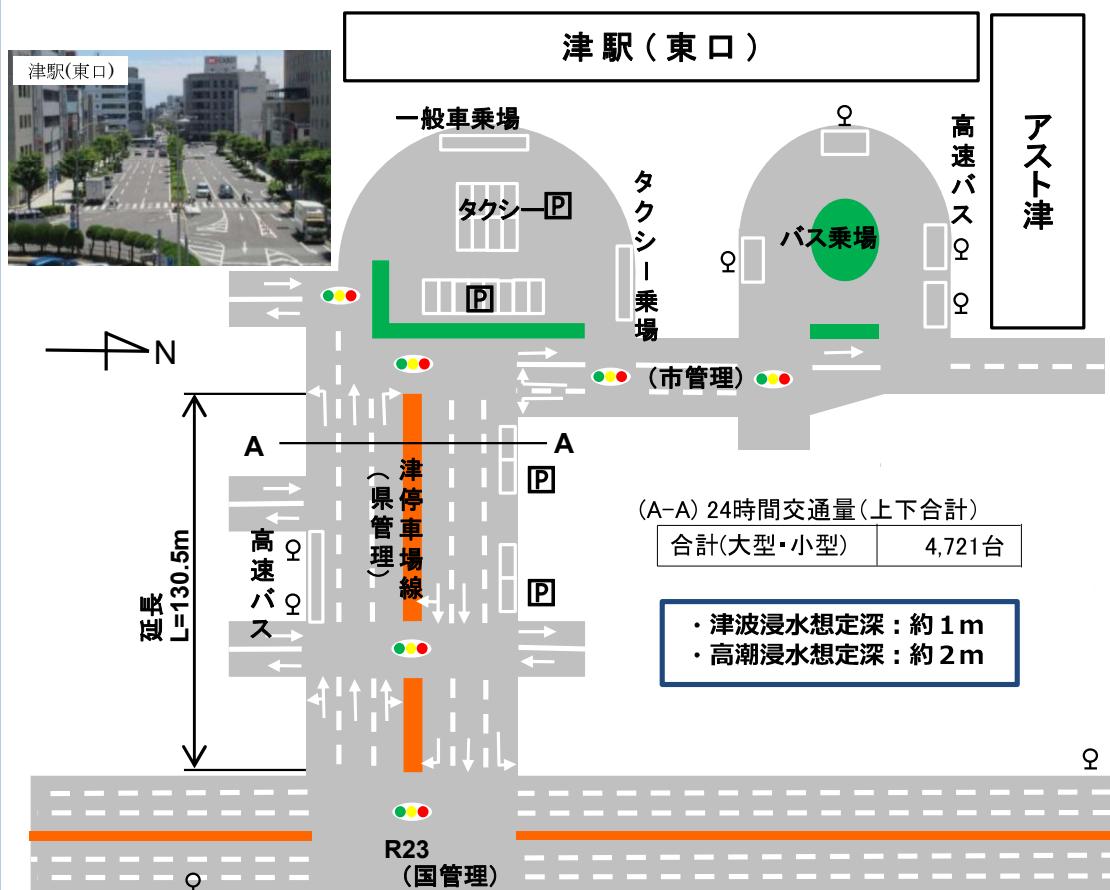
令和2年度地価調査において、桑名駅前(寿町2丁目)が県内商業地84地点のうち、前年度比地価上昇率がトップ(1.7%)となった。

<四日市駅> 中部圏で初めて「バスターミナルプロジェクト」の候補に選定



近鉄四日市駅及びJR四日市駅の駅前広場や、中央通りの車道を減少させて歩行空間を整備する「近鉄四日市駅周辺等整備事業」が進められている。

<津駅> 地域創生、防災力を強化する道路空間の創出へ



要 望 コロナ禍をふまえた地方創生の実現に向け、各都市の駅を中心とする空間整備について、支援を行うこと。

18 社会資本整備に係る地方財政への支援・充実

(内閣官房、財務省、国土交通省)

頻発化・激甚化する水災害

令和元年東日本台風

- ・国管理河川で**14箇所**、県管理河川で**128箇所**の堤防が決壊

令和2年7月豪雨

- ・梅雨前線の停滞により国が管理する**7河川**、県が管理する**186河川**で氾濫が発生

気候変動に伴う降雨量の将来予測

降雨量	流量	洪水発生頻度
約1.1倍	約1.2倍	約2倍

気候変動を踏まえた対策「流域治水」へ転換することで、更なる水災害対策の加速化！

「流域治水プロジェクト」実施を支援

○流域治水プロジェクト実施に向けた課題

- ・流域の関係者全員の参画を促すことが必要！
- ・二級水系を策定するためのノウハウの共有が必要！
- ・流域治水に参画するインセンティブとなる財政支援が必要！

- ・国のリーダーシップによる参画の促進を！
- ・一級水系策定時のノウハウの共有を！
- ・「流域治水プロジェクト」を円滑に実施できるよう、財政支援を！

「流域治水」への転換

- あらゆる関係者により流域全体で行う治水「流域治水」へ転換



※国土交通省資料より抜粋

流域治水プロジェクト

全国の一級水系で令和2(2020)年度中に策定
二級水系は令和3(2021)年度策定予定

- 早急に実施すべき流域全体での対策の全体像を示し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速

【イメージ】

- ★戦後最大(昭和XX年)と同規模の洪水を安全に流す
浸水範囲(昭和XX年洪水)
- ★対策費用

■河川対策

■流域対策 (集水域と氾濫域)

■ソフト対策 (水位計・監視カメラ設置、マイ・タイムライン作成等)



※国土交通省資料より抜粋

堤防強化対策の推進

- 令和元年東日本台風などでは、河川の合流部などで多数の堤防が決壊し甚大な被害が発生！

- 河川の合流部や、当面の間、上下流バランスの観点から堤防整備に至らない区間などにおいて、氾濫水を少なくするため、越水しても決壊しにくい堤防強化が必要！

- 三重県では、令和元(2019)年度補正予算も活用し、今年度、29河川で堤防強化対策を進めているが今後も継続して集中的に実施できるよう、財政支援を！

既存ダムの洪水調節機能の強化

- 既存ダムの洪水調節機能強化のために事前放流について利水者の協力が必要！

- 利水者の協力を得るために全てのダムを事前放流に伴う国の損失補填の対象とすることが必要！

- ・一級水系は5/29に治水協定を締結
- ・二級水系は6水系のうち早期に対応が必要な2水系は8/31に締結
残る4水系も年度内に締結予定

- 一級水系の道府県所管の多目的ダムと二級水系の全てのダムも事前放流に伴う国の損失補填制度の対象に追加を！

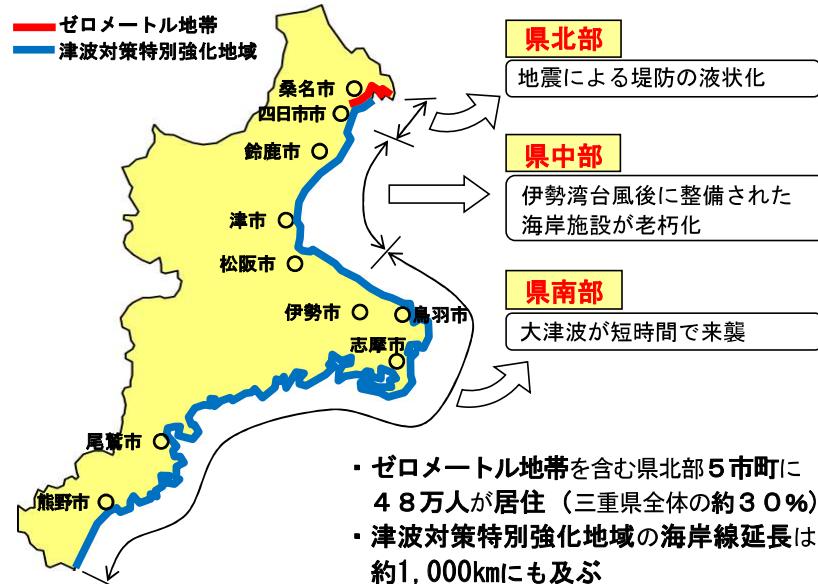
要望

- 1 「流域治水プロジェクト」において、流域の関係者全員の参画を促進するとともに、円滑に実施できるよう、財政支援を行うこと。
- 2 上下流バランスの観点から堤防整備に至らない区間などにおいて、越水しても決壊しにくい堤防強化対策を集中的に実施できるよう、財政支援を行うこと。
- 3 事前放流にあたり、一級水系の道府県所管の多目的ダムと二級水系の全てのダムを国の補填制度の対象として追加すること。

南海トラフ地震に備えた地震・津波対策

三重県の沿岸は、「ゼロメートル地帯」や「津波避難対策特別強化地域」であり、被災リスクが非常に高い。

●南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率は70～80%！



地震・津波対策の予算確保が必要

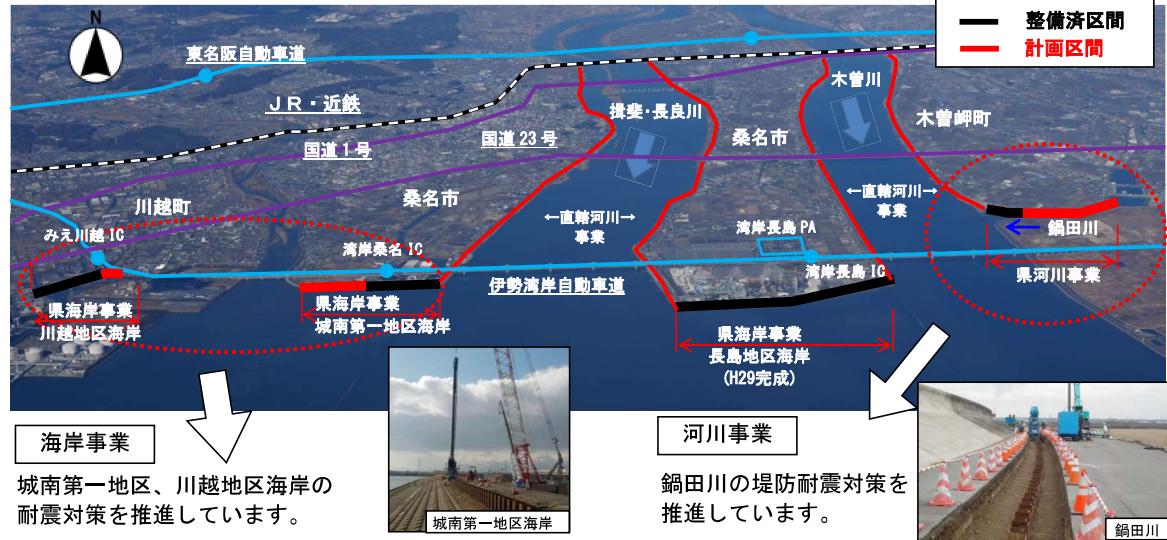
河川改修や高潮・侵食対策に加えて地震・津波対策を実施するには既存の交付金事業では不充分

高潮浸水被害への関心の高まり

- ・伊勢湾沿岸[三重県区間]の高潮浸水想定区域図を公表（令和2(2020)年8月）
 - ・想定の結果、11市町において約288km²が浸水
 - ・堤防背後住民らの関心の高まり

【河川・海岸事業】ゼロメートル地帯における堤防等の地震対策を実施

直轄河川改修事業と合わせ、県河川・海岸事業を実施し、地域の安全・安心を確保



【海岸事業】短時間で津波が到達する沿岸での津波対策を実施



県南部では、津波が最短2分で到達することから、避難時間を少しでも確保できるよう、**津波対策の推進が必要！**

**【河川事業】津波の遡上が想定される
河口部にて耐震対策を実施**



防災・安全交付金にて事業実施

防災・安全交付金にて事業実施

防災・安全交付金は減少傾向であるため、進捗に支障をきたしている！



巨大地震に備えた耐震対策の
加速化が必要！

要 望

南海トラフ地震による被災リスクの高い「ゼロメートル地帯」や「津波避難対策特別強化地域」において、緊急性の高い河川・海岸堤防や水門・樋門などの地震・津波対策を重点的に推進できるよう、予算を確保すること。

背景

- 全国的に水害が激甚化・頻発化！（令和2年7月豪雨、令和元年東日本台風等）
- 三重県においても令和元年9月豪雨（北勢地域の豪雨）をはじめとした水害が発生！

- 三重県における大規模な水害
- 昭和34年 台風第15号（伊勢湾台風）
 - 昭和49年 台風第8号 梅雨前線（七夕豪雨）
 - 昭和57年 台風第10号
 - 平成16年 台風第21号
 - 平成23年 台風第12号（紀伊半島大水害）
 - 平成29年 台風第21号
 - 令和元年 北勢地域の豪雨



<維持管理>

老朽化対策を着実に進めることが必要！

現状

- 頻発化・激甚化する水害に備え、河川管理施設、海岸保全施設の適切な維持管理が必要！
- 河川管理施設、海岸保全施設の多くは高度経済成長期に建設
→施設の老朽化が進行（県管理施設の多くが建設後50年経過）



<施設整備>

着実な治水対策の推進が必要！

現状

- 河川整備率 39.6% ※全国平均約50%を下回る
- 下流域にはネック点となる河川横断工作物が集中
→改修を進めるには多大な予算が必要！
- 高潮海岸堤防整備率 66.2%
- 海岸堤防の多くは、伊勢湾台風後に整備されており、築後50年以上経過し老朽化が進行！



課題

施設の老朽化が進行している河川管理施設、海岸保全施設の適切な維持管理が必要！



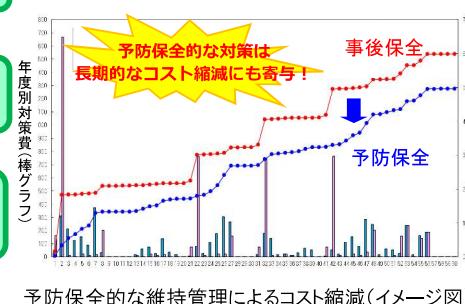
長寿命化計画に基づく老朽化対策の実施

施設の機能確保とライフサイクルコストの縮減を図る

対策が必要な施設が多く、老朽化対策の着実な進捗が困難な状況！

早期の課題解決に向けて

老朽化対策を着実に進めるため、予算の確保が必要



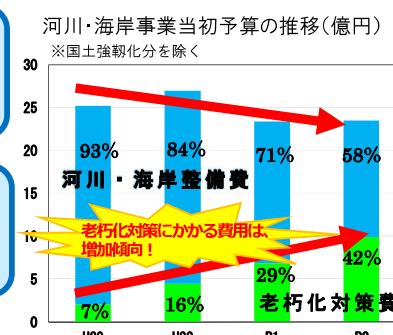
老朽化対策が予算に占める割合は、増加傾向であるため、河川・海岸整備予算は減少傾向！

河川・海岸整備予算が圧迫され、治水対策の進捗に支障をきたしている！

早期の課題解決に向けて

着実な治水対策を推進するため、予算の確保が必要

- | | |
|----|--|
| 要望 | 1 長寿命化計画に基づく河川・海岸施設の老朽化対策を着実に進めるため、予算を確保すること。
2 着実な治水対策を推進するため、河川・海岸整備に係る予算を確保すること。 |
|----|--|



18 社会資本整備に係る地方財政への支援・充実

(国土交通省)

砂防関係施設やダム設備の維持管理に対する財政支援の強化

砂防関係施設の機能を確保するための修繕



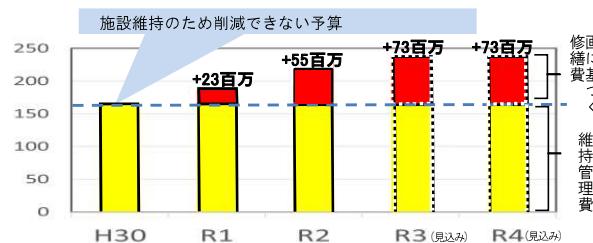
長寿命化計画(R1～R10)に基づき、修繕を計画的に実施

施設は約2,300施設あり、今後も施設数は増加

長寿命化計画に基づく施設修繕を確実に進めていくためには、予算の安定的・持続的な確保が必要

修繕は防災・安全交付金の対象外

砂防関係施設維持管理費（百万円）



ダムの機能を確保するための設備更新

ダム機能を確保するために長寿命化計画(H30～R29)に基づく設備更新を確実に推進

ダム長寿命化計画

- ・ダム管理用制御処理設備の更新
- ・テレメータ設備の更新
- ・放流警報設備の更新
- ・放流設備の更新
- ・減勢工の修繕



設備更新は防災・安全交付金の対象外

ダム事業当初予算事業費（百万円）



県単独事業で対応することは、
重い財政負担

長寿命化計画に基づく
・海岸保全施設の修繕
・河川管理施設の更新

海岸：平成26(2014)年度
河川：平成21(2009)年度

既に交付金の対象！

長寿命化計画に基づく砂防関係施設の修繕やダム設備の更新を確実に進めるためには、防災・安全交付金による支援が必要！

要望

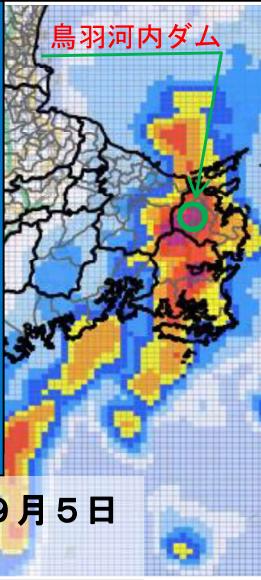
長寿命化計画に基づく砂防関係施設の修繕やダム設備の更新を防災・安全交付金の対象とすること。

18 社会資本整備に係る地方財政への支援・充実

(総務省、国土交通省)

鳥羽河内ダム建設

頻発化・激甚化する豪雨災害！
令和元（2019）年9月には三重県で記録的大雨が発生！
令和2（2020）年7月には梅雨前線による記録的な大雨により、九州を中心に甚大な被害が発生！



令和元（2019）年9月5日
降雨状況

鳥羽河内川流域でも数年に1回浸水被害が発生！



地元はダム建設を熱望

要望活動状況
(鳥羽市長、町内会長)
平成30(2018)年11月

工事用道路整備状況



鳥羽河内ダムの完成により
治水安全度が大きく向上！



治水安全度の向上により地域の浸水被害を軽減！！

鳥羽河内ダム事業に対する地方財政支援強化

補助ダムに係る補助率55%の対象及び採択要件を拡充

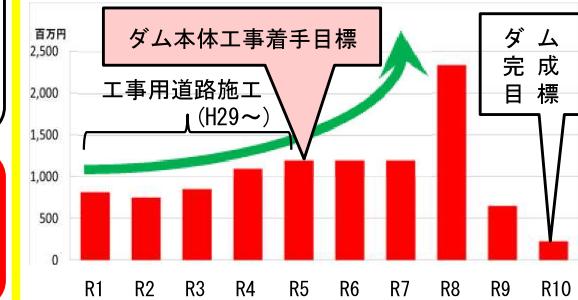
現行補助率55%の基準
一級河川であって
・公共費120億円を超えるかつ
・総貯水容量800万m³以上

鳥羽河内ダム
・二級河川鳥羽河内川
・公共費152億円
・総貯水容量296万m³
・補助率50%

採択要件を拡充
一級又は二級河川であって
・公共費120億円を超える
又は
・総貯水容量800万m³以上

鳥羽河内ダム建設では
約4億6千万円の地方負担軽減！

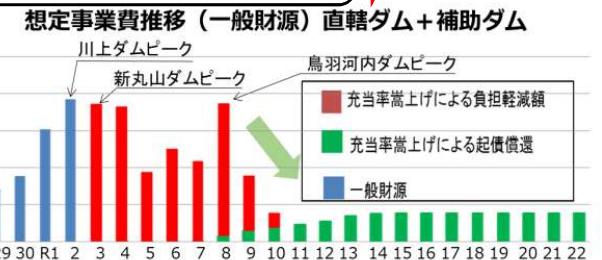
令和10(2028)年度までに
事業費84億円が必要



ダム事業にかかる起債充当率を嵩上げ

ダム事業では短期間に投資が集中し、工事費が大幅に変動するため、地方負担が大きい

起債充当率の嵩上げが必要(90%→100%)！



一定の負担により安定した財政運営が可能！

要望

- 1 鳥羽河内ダムの令和10(2028)年度完成に向けて、建設に必要な予算を確保すること。
- 2 ダム建設に係る補助率の嵩上げについて、二級河川で総貯水容量800万m³未満のダムでも適用できるよう採択要件を拡充するとともに、建設費に係る起債充当率を嵩上げすること。

18 社会資本整備に係る地方財政への支援・充実

(国土交通省)

要配慮者利用施設を保全する事業

県内の土砂災害警戒区域内の402箇所の要配慮者利用施設が未対策！
※内、329箇所が24時間滞在型ではない

要配慮者利用施設の早急な保全が求められている

24時間滞在型ではない要配慮者利用施設（診療所、幼稚園等）を保全する土砂災害防止施設についても防災・安全交付金の予算を重点的に配分して整備する必要がある



ソフト
対策



24時間滞在型ではない
要配慮者利用施設を保全
する箇所は対象外！！

要配慮者利用施設の被災事例



平成28(2016)年8月台風第10号により岩手県岩泉町高齢者グループホームで9名が亡くなる被害が発生！

要配慮者利用施設における避難確保計画の策定が、施設管理者に対して義務が課され令和3(2021)年度までの計画策定が進められている

防災・安全交付金における重点配分対象事業

- ・防災拠点(避難所・官公署)を保全
- ・集落人家50戸以上を保全
- ・重要交通網(国道42号)を保全
- ・要配慮者利用施設を保全
(24時間滞在型の施設に限る！)

予算が重点配分されることで事業が進捗！
事業が進捗することで早期に土砂災害対策
事業の整備効果が発現

過去に土砂災害が発生した箇所の事業

里地谷通常砂防事業 (三重県 南牟婁郡紀宝町)

里地谷は、平成23(2011)年9月の台風第12号に伴う豪雨により、下流の人家等に甚大な被害を及ぼしたため、平成23(2011)年度から平成26(2014)年度まで補助事業で進め、平成27(2015)年度からは防災・安全交付金で砂防整備を進めています。

被災状況

最上流の保全民家

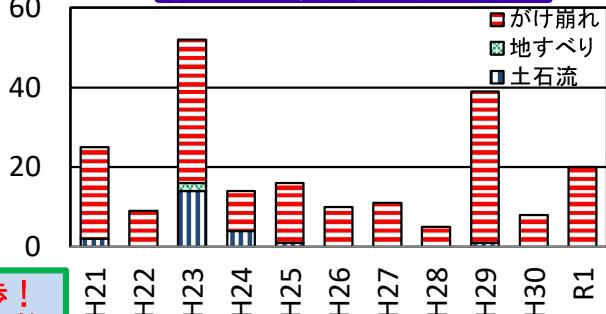
堰堤施工状況

【平成23(2011)年9月 撮影】

【令和元(2019)年8月 撮影】

過去に土砂災害が発生した
箇所は対象外！！

県内の土砂災害の発生状況



令和元(2019)年度は、20件の土砂災害が発生！
県内では、平均すると毎年20件程度の災害が発生！

早期に土砂災害防止施設を完成するために、24時間滞在型ではない要配慮者利用施設を保全する箇所と過去に土砂災害が発生した箇所については、予算の重点的な配分が必要

要望

土砂災害防止施設の整備を着実に推進するため、24時間滞在型ではない要配慮者利用施設を保全する箇所と過去に土砂災害が発生した箇所についても防災・安全交付金における重点配分対象に拡大すること。

18 社会資本整備に係る地方財政への支援・充実

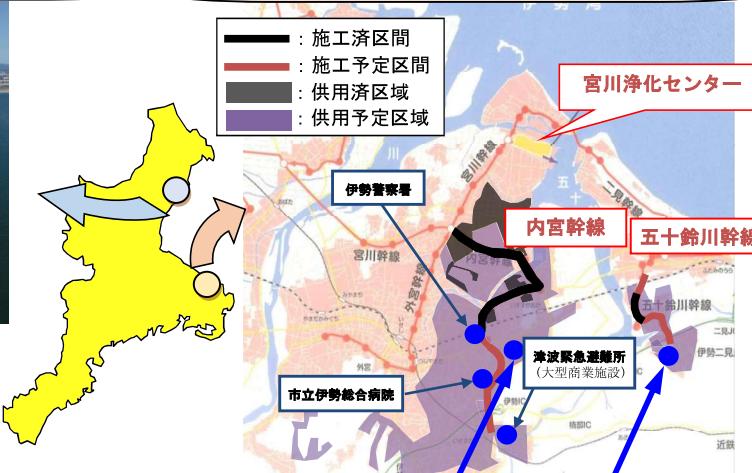
(国土交通省)

耐震性能を有する処理場や幹線管渠の整備 ～ 災害時においても防災拠点等の下水道機能を確保～

南部浄化センター（第2期）の早期供用開始



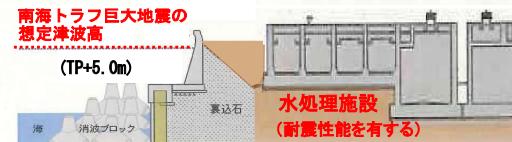
第2期



宮川流域下水道幹線管渠の早期供用開始

整備状況
(令和2年7月撮影)

平成30年度に着手したスクリーンポンプ棟の建設を進めます。



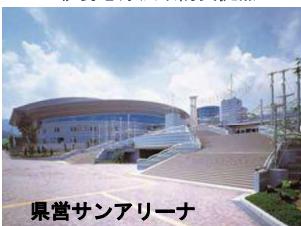
南部浄化センター（第2期）の整備工程

	2014	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24
護岸整備		16億円									供用開始▼
埋立整備				4億円							
躯体整備							80億円				
プラント整備									39億円		
工事費(国費:億円)	6	3.6	6.4	5.4	4.3	8.3	18	26	22	25	14

伊勢市消防本部庁舎・防災センター



伊勢志摩広域防災拠点



宮川流域下水道幹線管渠の整備工程

	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24
内宮幹線						19億円				整備完了▼
五十鈴川幹線							5億円			
工事費(国費:億円)	0.9	1.7	4.6	3.9	3.2	2	2	2	2	2

ストックマネジメント計画に基づく老朽化対策 ～ 安定的・継続的な下水道機能を確保～

各浄化センター・プラント設備の改築



「機能停止の未然防止」と「ライフサイクルコストの最小化」を目的としたストックマネジメント計画に基づく 計画的な改築が必要！
適切な改築が実施できないと

処理施設の停止や機能低下が生じ、
公共用水域の水質悪化を招くため
公共的役割を果たすことができない！

ストックマネジメント計画に基づく老朽化対策費用

	2020	'21	'22	'23	'24
老朽化対策 (国費:億円)	5.6	7	10	7	15

要望

- 災害時においても下水道機能を確保するため、耐震性能を有する下水道施設の整備に必要な予算を確保すること。
- 下水道施設を安定的かつ継続的に機能させるため、老朽化対策に必要な予算を確保すること。

18 社会資本整備に係る地方財政への支援・充実

(国土交通省)

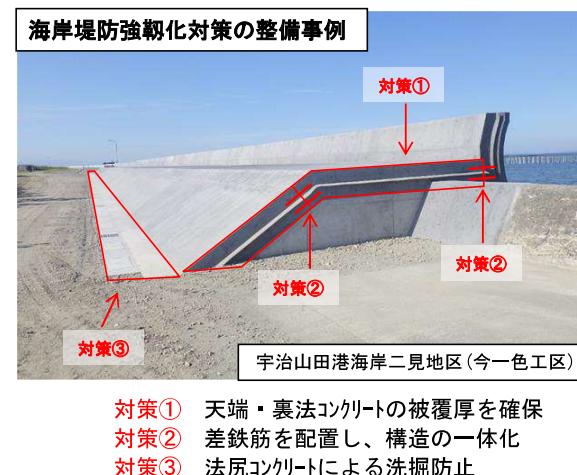
切迫する南海トラフ地震や激甚化する気象災害から、国民の生命と財産を守る

南海トラフ地震に備えた海岸堤防の整備

●南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率は70～80%！

三重県で想定される被害は、死者数約4万人、経済被害額約21兆円

特に、県南部では大津波が短時間で来襲することから、避難時間の確保のためには「粘り強い構造」の堤防にすること必要



高潮・侵食被害に備えた海岸堤防の整備

堤防整備や養浜による
面的整備により、高潮防護
効果が発揮されている

伊勢湾沿岸[三重県区間]の
高潮浸水想定区域図を公表
(令和2(2020)年8月)



高波浪時の整備効果発現事例 (H30.9)

港湾施設の老朽化対策や地震対策

地域の基幹産業を支え生産性向上に資する港湾施設の老朽化対策や地震対策

津松阪港-7.5m大口岸壁
岸壁上部工老朽化状況



仮配管によるセメント荷役状況



津松阪港大口地区

コーン油など食用油の製造、開発。
大手食品メーカーへ供給
油脂類取扱量 約5.9万トン(R1)

【予防保全事業未改修区間】
(大口岸壁)

-7.5m×260m
(北岸壁)

-5.5m×200m
(耐震)

-7.5m×130m
(耐震)

ニッケル
ガラス

県内全域の生コン工場や
建築用外壁材メーカーへ供給
セメント取扱量 約32.1万トン(R1)



先端産業に必須の材料である酸化ニッケル
国内シェア100%

台湾、韓国、ヨーロッパ等へも供給
ニッケル取扱量 約7.3万トン(R1)

加工ガラスは主要自動車メーカーへ供給
国内シェア20%
非金属鉱物取扱量 約14.1万トン(R1)

大口岸壁



緊急物資輸送ルートの確保



「津波避難対策特別強化地域」における対策のための予算の確保が必要！

・令和2(2020)年度
からの工事期間中
は、非効率な荷役
が発生
・外航船は大口埠頭
SOLAS利用不可。
SOLASは中央埠頭
のみの運用
□
岸壁改修の早期完
成に向けた予算
の確保が必要！

要望

- 1 南海トラフ地震による被災リスクの高い「津波避難対策特別強化地域」において、緊急性の高い海岸保全施設の地震・津波対策を重点的に推進できるよう、予算を確保すること。
- 2 港湾施設の老朽化対策や地震対策を重点的に推進するために必要な予算を確保すること。

18 社会資本整備に係る地方財政への支援・充実

(国土交通省)

～社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金による支援（街路・都市公園）～

街路 緊急輸送道路の無電柱化

千葉県では令和元年房総半島台風の影響で、約2,000本の電柱が倒壊し、停電の長期化など、住民生活に甚大な影響を与えた。

台風や地震による電柱倒壊のリスクが軽減できる無電柱化に注目が集まっている

無電柱化を推進するためには多額の予算が必要！

緊急輸送道路の無電柱化に必要な
街路整備の予算の確保を！

外宮度会橋線・外宮常磐線（伊勢市）、尾鷲港新田線（尾鷲市）

電柱が立ち並ぶ
外宮常磐線

神宮式年遷宮の祭事「お木曳き」にも利用される



都市公園 防災拠点等の機能向上

- ・政府が南海トラフ地震の発生率を「70～80%」に引き上げ
- ・激甚化・頻発化する自然災害等により、全国各地で甚大な被害が発生

大規模自然災害の備えとして防災安全に資する都市公園整備の重要性は高まっている！

防災安全に寄与する都市公園整備に
必要な予算の確保を！

県営熊野灘臨海公園（紀北町）



市営香良洲高台防災公園（津市）



街路 通学路等の安全対策

市街地の通学路等は、歩行者の利用が多く、車両の通行も多いが、歩道が未整備となっている箇所があり、歩行者の安全性が確保されていない

歩行者の安全性を確保するためには、歩道を整備し車両との動線を分離する必要がある。整備には、住宅等が密集している箇所も多く、用地補償に多額の予算が必要！

通学路等の安全対策に必要な
街路整備の予算の確保を！

桑部播磨線（桑名市）、野町国府線（鈴鹿市）、服部橋新都市線（伊賀市）

街路整備が進む
服部橋新都市線



都市公園 ワークーションの推進

ワークーション推進に向けた公園施設利用の取組

熊野灘臨海公園やその周辺に広がる豊かな自然環境や観光資源を活かしたワークーションを推進するための公園施設整備を進めている。
(別途事業)

老朽化したプールを新たな集客・誘客施設として再整備し、新しいプールとの相乗効果による集客力向上をめざす！

ワークーションを推進するために必要な
都市公園整備の予算の確保を！



コテージ改修【別途事業】
(ワークーション対応)
PC作業スペース整備および
Wi-Fi導入【別途事業】



新プール整備イメージ図（熊野灘臨海公園）

要望

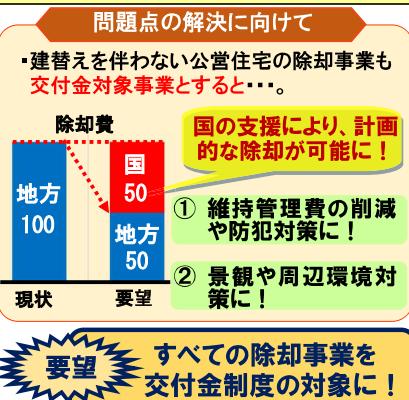
- 1 大規模自然災害の備えとして、緊急輸送道路の無電柱化に必要な街路整備の予算を確保すること。
- 2 通学路等の安全対策に必要な街路整備の予算を確保すること。
- 3 大規模自然災害の備えとして、防災拠点や避難地となる都市公園整備に必要な予算を確保すること。
- 4 公園施設を利用したワークーションを推進するために必要な都市公園整備の予算を確保すること。

18 社会資本整備に係る地方財政への支援・充実

(国土交通省)

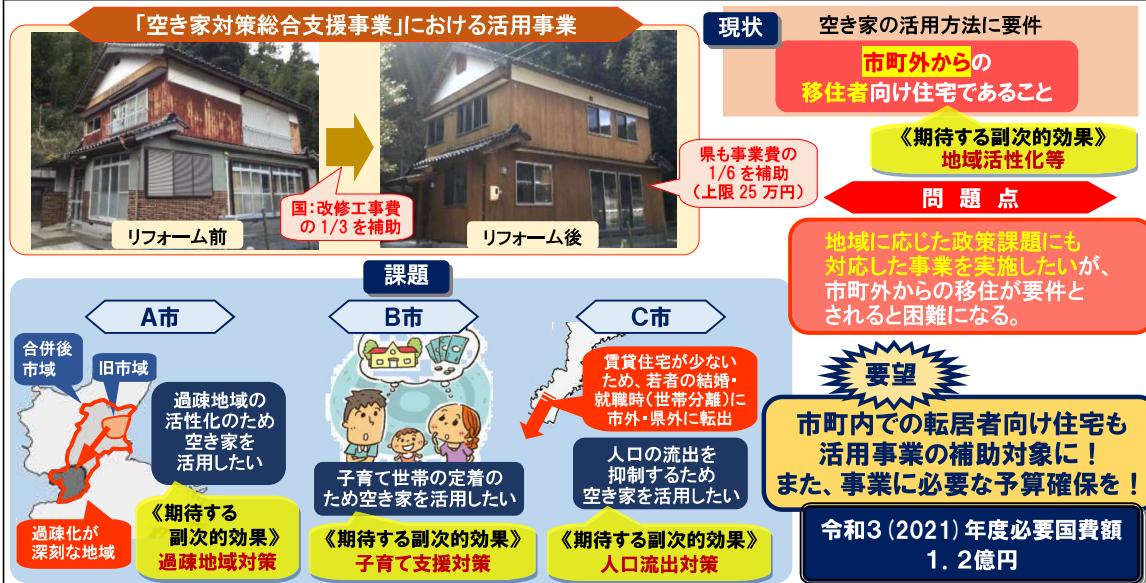
公営住宅の除却の推進

耐用年限が過ぎ空き家となった公営住宅について、建替えを伴わない除却事業も交付金制度の対象に



空き家対策等の推進

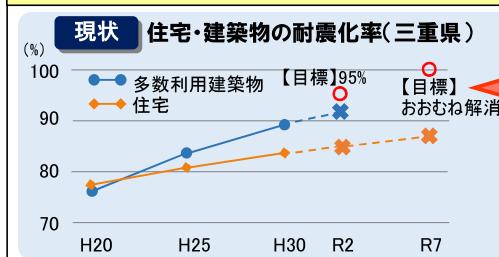
同一市町内で空き家に転居しようとする者も利用できるよう要件の緩和と必要な予算の確保を



住宅・建築物の耐震化促進

住宅・建築物耐震化促進のために必要な予算確保を

令和3(2021)年度必要国費額
5.5億円



問題点
【国の基本方針】令和7(2025)年までに耐震性が不十分な住宅
おおむね解消する必要がある
住宅
耐震診断義務付け対象建築物



要望
居住者、利用者、まちの安全・安心のために必要な予算確保を!

市街地の安全性の向上

狭い道路解消促進のために必要な予算の確保を

令和3(2021)年度必要国費額
1.4億円



問題点
要望額どおり国費が配分されないと、セットバック部分が未整備のまま放置され通行上危険な状態となってしまう。
要望
安全な市街地の形成のために必要な予算確保を!

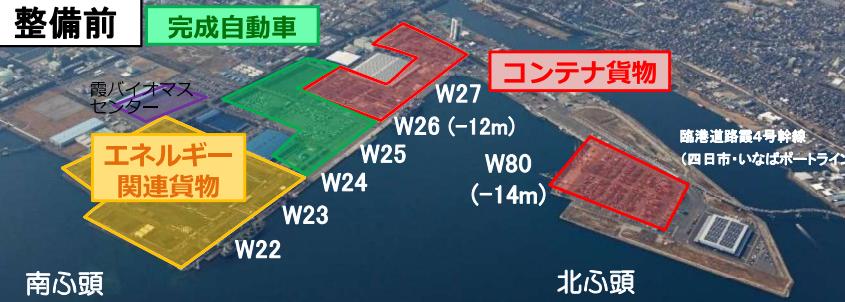
- 要望
- 耐用年数が過ぎ空き家となった公営住宅について、建替えを伴わない除却事業も交付金制度の対象にすること。
 - 空き家対策総合支援事業を活用した改修補助を、同一市町内での転居者も利用できるよう要件の緩和と、同事業に必要な予算を確保すること。
 - 令和7(2025)年までに耐震性が不十分な住宅や建築物を解消するため、耐震化促進に必要な予算を確保すること。
 - 安全な市街地形成のため、狭い道路整備等促進事業に必要な予算を確保すること。

20 背後圏産業の発展を支え、安全・安心を高める四日市港の整備推進

(財務省、国土交通省)

四日市港の霞ヶ浦地区機能強化に向けた国際物流ターミナルの整備(北ふ頭W81耐震強化岸壁整備)

感謝！令和2年度事業化検証調査費（国費1億円）



現況と課題

コンテナ貨物 (W26,W27,W80)

- 外貿コンテナ取扱個数が2年連続20万TEUを記録
- 高速道路などの道路網の整備により滋賀県貨物が増加
- 船舶の大型化による必要な水深を満たす岸壁の不足
- コンテナ船用耐震強化岸壁が未整備

完成自動車への対応 (W24,W25)

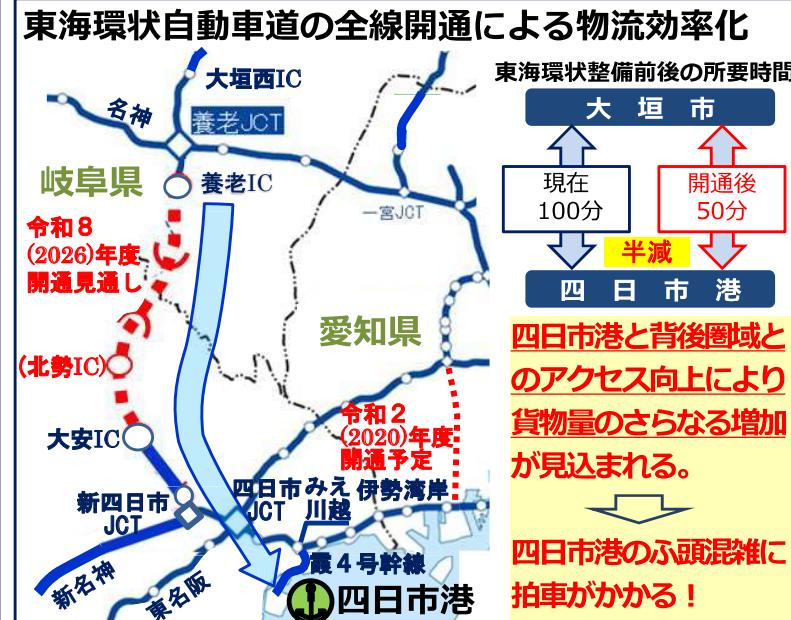
- 輸出再開による取扱増加
- 一部が四日市地区に分散

エネルギー関連貨物への対応 (W22,W23等)

- バイオマス燃料等の増加

コンテナ物流機能の強化や、完成自動車・エネルギー関連貨物の取扱機能の拡大による混雑解消が必要！

四日市港 ⇄ 滋賀県
取扱貨物量 (万トン/月)



四日市港に寄せる期待の声
四日市港霞ヶ浦地区北埠頭整備促進WEBフォーラム（9.14開催）



荷主企業

物流コストを抑制するためにも、東南アジア航路の充実、強化をお願いしたい。

自動車メーカー

南ふ頭の環境整備により、サプライチェーンの拠点として利用できる。

船会社

船舶大型化に対応した港湾整備、自然災害への備え、港湾のデジタル化を進めてほしい。

要望

背後圏産業の競争力強化への対応や、大規模地震発生後においても物流機能を維持するため、霞ヶ浦地区北ふ頭に国際物流ターミナル(W81)耐震強化岸壁を新規事業化すること。

20 背後圏産業の発展を支え、安全・安心を高める四日市港の整備推進

(財務省、国土交通省)

四日市港の海岸・港湾事業の推進

海岸事業

四日市地区（1号地地区）



耐津波対策を踏まえた胸壁補強

【海岸保全施設の耐震・耐津波対策状況】**整備率 13%** (整備済 L=2.43km 未整備 L=16.95km)

四日市港管理組合が所管する海岸保全区域における**対策が必要な海岸保全施設 L=19.38km**
(うち、第1コンビナート沿岸部(塩浜・石原地区) L=4.93km)



富田港地区



護岸の耐震補強



石油コンビナート等特別防災区域

港湾事業

老朽化対策(W22,W24,W27,東防波堤)

港湾施設の多くが供用から40年
以上が経過し、老朽化が進行して
いるため、施設の延命化が必要

【W22下部工補修】【W24上部工補修】



霞ヶ浦地区



四日市地区



千歳運河（緑地護岸整備）

老朽化した物揚場を改修
緑地護岸として利用転換



東防波堤

要望

- 1 石油化学コンビナートを有する塩浜・石原地区など臨海部における海岸保全施設の耐震・耐津波対策について、早期事業化に向けた検討を進めるとともに、海岸保全施設の高潮対策や老朽化対策などに必要な予算を確保すること。
- 2 港湾施設の老朽化対策など港湾機能の維持・強化に必要な予算を確保すること。

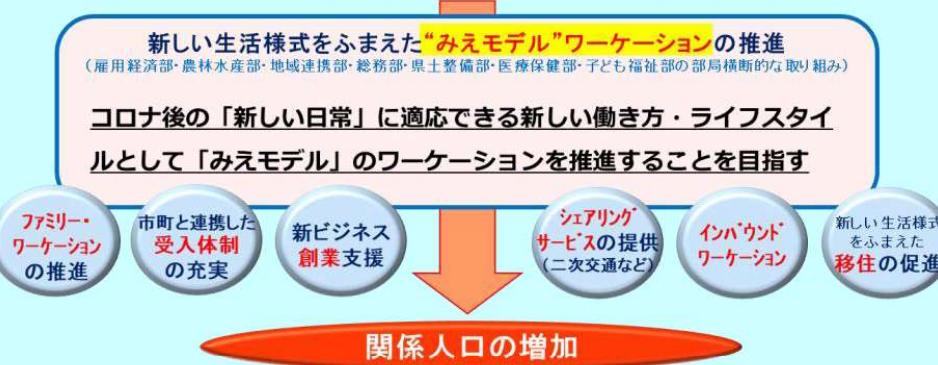
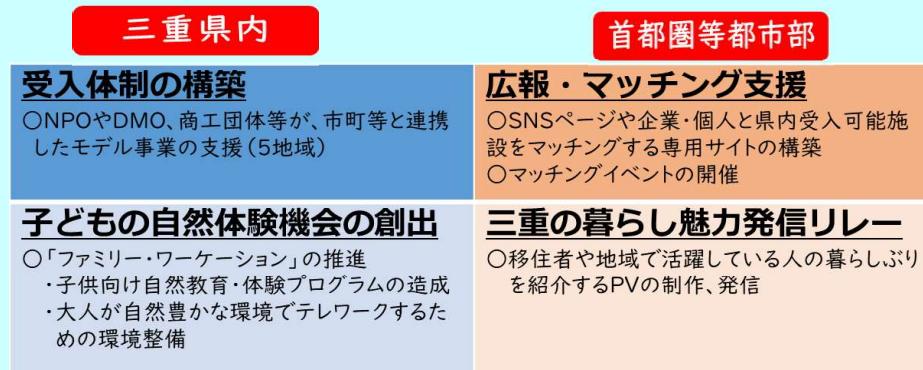
16 ワークーションの社会全体への浸透を図るための体制等の整備

(内閣府、総務省、財務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、環境省)

【本県の取組と現状】

- ・ハード事業からソフト事業まで多岐にわたる取組を行うため、9部局17課が連携してワークーションを推進
- ・県内5地域でのモデル事業に対して13事業者から応募があり、県内の民間事業者・行政ともに期待感大

<ワークーションによる関係人口増加促進プロジェクト>



国を挙げて取り組むため、総合的な本部機能を担う窓口を！

課題1：ワークーション関連施設・設備の整備・改修が必要

受入促進に向けた課題

- ・通信環境の整備
- ・二次交通などの交通手段の整備等

民間企業による本県内でのワークーション試行結果

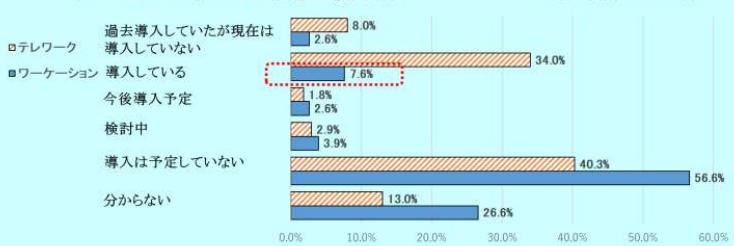
県内事業者の声

コワーキングスペースは利用者数の増減が大きく収益が安定しないため、整備のハードルが高い

地方創生テレワーク交付金の額の確保、地方のニーズに合う柔軟な使途へ！

課題2：テレワークに比べてワークーション導入企業は少ない

テレワーク・ワークーション 企業の導入状況



政府による推進及び周知広報により、ワークーションの認知度向上を図ることが必要！

課題3：企業の労務管理に課題あり

経営者に聞くワークーションの課題は？



We'll-Being JAPANほか2社による「経営者のワークーション及びその取り組みの実態」より(令和2年8月実施)
複数回答あり

企業でのワークーションの推進には、企業内部の人事評価制度や労務管理のルール見直しが必須。政府による支援制度が必要！

【要望項目】

- 1 政府の一元窓口となる「ワークーション推進本部（仮称）」を設置し、各府省庁の関連施策を調整・取りまとめること。
- 2 新たに創設される「地方創生テレワーク交付金（仮称）」については、地方の取組に必要かつ十分な額を確保するとともに、コワーキングスペースなどのハード整備や自治体のソフト事業への活用が可能となるよう、柔軟な使途とすること。
- 3 ワークーションの普及促進を図るために、企業等におけるワークーションへの意識調査や導入検討状況調査の実施、さらには、企業や自治体を対象としたワークーションに関する表彰制度を創設すること。
- 4 企業に必要な就業規定の改定等を相談できる窓口を設け、専門家を現地に派遣できる体制を整えるなど、企業でのワークーション導入に向けた支援を行うこと。

19 リニア中央新幹線の早期全線開業および地方のリニインパクト最大化への支援強化

(国土交通省)

・東京・名古屋間の2027年開業に向け、着実に工事が進められるよう、引き続き、国においても連携・調整が必要！

・名古屋・大阪間の早期事業着手や工期短縮などに向け、国において準備や体制づくりが必要！

・名古屋・大阪間のルート・駅位置の早期確定により、リニア駅を核とした広域交通ネットワークの構築や駅周辺のまちづくり等に速やかに取り組み、地方創生を図ることが重要！



名古屋・大阪間の早期着工・全線開業の実現

令和元年度
三重・奈良・大阪 リニア中央新幹線建設促進大会

3府県がしっかりと協力し、JR東海と具体的な協議を進め、一日も早い全線開業をめざす。

- ・国交省幹部、JR東海社長等を招聘し3府県大会を開催（2017年から毎年開催）
- ・早期着工・全線開業の実現に向け、3府県が連携を強化

新大阪駅における北陸新幹線環境アセスメントとの連携



ルート・駅位置の早期確定に向けた三重県の取組

◆リニア開業に伴う本県への波及効果調査を活用、県民へのPR強化！

県内周遊観光や移住促進などに効果大

◆県期成同盟会では、今年度から県内駅位置候補の検討に着手

名古屋以西の環境アセスに向け取組加速

リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会
令和2年度 総会



<スケジュール>
2020年
市町による駅位置候補の提案

2021年
有識者等への意見聴取、県期成同盟会で駅位置候補検討

2022年頃
県期成同盟会で県内駅位置候補決議・JR東海に要望

2023年頃
JR東海が環境アセスに着手（概略ルート・駅位置確定）

【要望項目】

リニア中央新幹線の開業によって形成されるスーパー・メガリージョンの波及効果を地方再生の起爆剤とするため、一日も早い全線開業とリニインパクトの最大化に向けた支援策を講じること。

- 1 リニア中央新幹線の名古屋・大阪間整備について、ルート・駅位置の早期確定に向け、沿線自治体等とも積極的に連携すること。また、一日も早い着工・全線開業を実現させるため、東京・名古屋間の2027年開業に向け、工事等が着実に進められるよう、引き続き関係者との連携・調整を図るとともに、名古屋・大阪間の早期事業着手や工期短縮を図るため、各種行政手続きの簡素化など、事業者や地方自治体が求める対応策をあらかじめ講じておくための体制づくりを関係省庁連携のもと進めること。
- 2 新大阪駅におけるリニア整備事業と北陸新幹線整備事業等との連携を密にし、効率的に環境アセスメントなどの事前準備を進めて早期のリニア全線開業につなげること。
- 3 リニア中間駅を核とした、在来線や道路網の整備による広域交通ネットワークの構築や駅周辺のまちづくりの整備など、地方におけるリニインパクトの最大化に必要な取組を進めるための支援策を検討すること。